



Guide Book To
**FOREIGN
LANGUAGE
STUDY**

外国語学習ガイドブック 2026



同志社大学の「国際主義」

高度な外国語運用能力や、外国の文化や社会に対する柔軟な理解力の養成は、本学の使命でもあります。外国語によるコミュニケーション能力を身につけること、外国語学習を通して異文化理解力を深めることを目的として、英語及びドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語の7ヶ国語について、4年間の段階的、体系的カリキュラムを提供しています。外国語を学び、その言語の背景となる文化への理解を深め、コミュニケーション能力を養うことにより、多様な人々の営み、世界観や価値観に触れてみてください。「ことば」の学習をきっかけとした様々な言語体験を通じて、皆さんが豊かな世界観を形成することを期待します。

DISCOVER THE WORLD



1

語学レベルに合わせた
習熟度別クラス編成を構築

2

学習意欲に応じて
受講可能な学習プログラム

同志社大学
外国語学習の

3

つの特徴

3

外国語学習への
多様なサポート

外国語の授業を受講するにあたっての心構え

「外国語の授業とは、教師と学習者との共同作業である」

(Allwright, 1992)

外国語の授業とは、教師、学習者それぞれの役割を認識し、教師と学習者で共に作り上げていくものとなります。

学生の皆さんは、学習者がなすべきことを認識し、授業に臨んでください。

教師がなすべきこと

クラスをモニターする

- 学生の理解度
- 学生が授業についてきているか

学習者の習得に適したレベルの
外国語を使用する

重要な事項は板書する

学習者がなすべきこと

教師に尋ねる

- 指示がわからない時
- 質問がある時
- ゆっくり話してほしい時
- 板書してほしい時

こちらの外国語学習ガイドブックは新入生向けとなります。在学生は入学時に配布された外国語学習ガイドブックを確認してください。

Contents

1

04 英語科目

- 05 習熟度別クラス編成について
- 06 科目概要
- 07 1 年次科目 登録方法
- 09 同志社英語集中プログラムについて

2

10 初修外国語科目

(ドイツ語・フランス語・中国語・
スペイン語・ロシア語・韓国語)

- 11 履修の流れ
- 12 各外国語紹介
- 18 1 年次科目 登録方法

3

22 海外留学プログラム

- 23 プログラム一覧
- 24 プログラム報告・体験記
- 39 プログラム統計(出願者・合格者)

4

40 外国語関連科目

5

43 外国語能力評価

6

44 多様なシステム・サポート体制

- 44 "Go Global" ポートフォリオ
- 46 e-Learning
- 47 図書館の活用
- 48 電子書籍の活用
- 49 良心館ラーニング・コモンズ
「Global Village」の活用
- 49 留学コーディネーター・
留学アシスタント
- 49 国際交流ラウンジ
- 50 検定試験・対策講座
- 51 留学に関する奨学金
- 51 語学カウンセリング

7

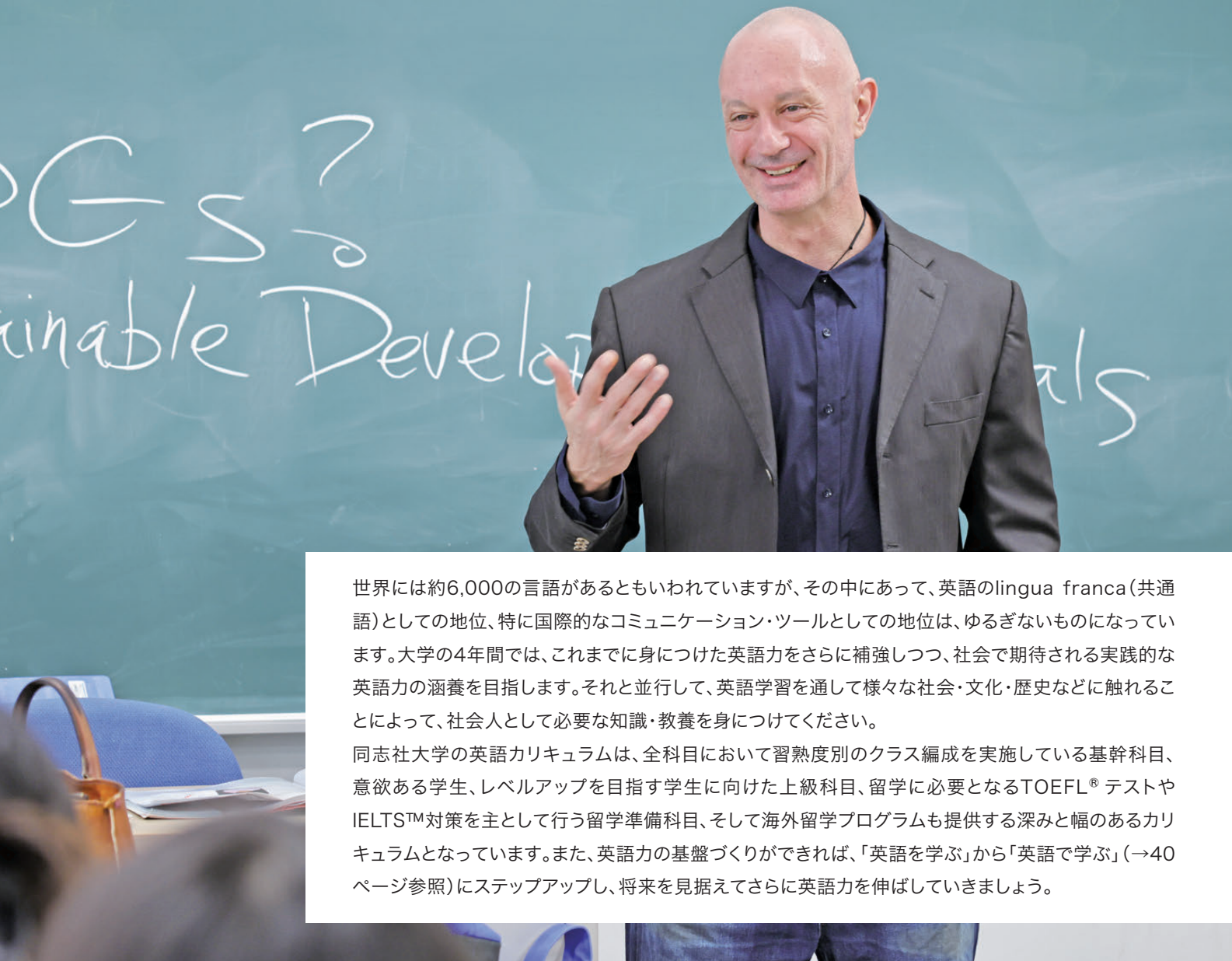
52 制度紹介

- 52 外国語honors(オナーズ)制度
- 53 Doshisha "Go Global" Passport
- 54 グローバル・リベラルアーツ副専攻

※TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITP、TOEFL Essentials及び
TOEICはエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の
登録商標です。この印刷物/ウェブサイトはETSの検討を受け
またはその承認を得たものではありません。

1 英語科目

English



世界には約6,000の言語があるともいわれていますが、その中であって、英語のlingua franca(共通語)としての地位、特に国際的なコミュニケーション・ツールとしての地位は、ゆるぎないものになっています。大学の4年間では、これまでに身につけた英語力をさらに補強しつつ、社会で期待される実践的な英語力の涵養を目指します。それと並行して、英語学習を通して様々な社会・文化・歴史などに触れることによって、社会人として必要な知識・教養を身につけてください。

同志社大学の英語カリキュラムは、全科目において習熟度別のクラス編成を実施している基幹科目、意欲ある学生、レベルアップを目指す学生に向けた上級科目、留学に必要となるTOEFL®テストやIELTS™対策を主として行う留学準備科目、そして海外留学プログラムも提供する深みと幅のあるカリキュラムとなっています。また、英語力の基盤づくりができれば、「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」(→40ページ参照)にステップアップし、将来を見据えてさらに英語力を伸ばしていきましょう。

英語科目学習プログラムの特徴

Point 1

1・2年次で履修する科目は、英語で専門領域を学ぶための基盤づくりを行う体系的な構成となっています。1年次では英語学習の基盤づくりを目的とし、2年次では分野(文系・理系)を横断して共通に求められる英語力と各領域(人文・社会・理工)で求められる英語力への基盤づくりを目的としています。

Point 2

入学前に受験したプレACEMENTテストの結果により4つのレベルに分けます。さらに、レベルごとに到達目標を設定した科目を設置しており、レベルに応じた科目を履修します。それにより、習熟度に応じたきめ細かな指導を行い、英語の運用能力や学修目標の多様化に対応しています。

Point 3

意欲ある学生、レベルアップを目指す学生に向けた上級科目、留学に必要となるTOEFL®テストやIELTS™対策を主として行う留学準備科目、海外留学プログラムも提供する深みと幅のあるカリキュラムとなっています。

習熟度別クラス編成について

同志社大学では1・2年次生で履修する基幹科目において、習熟度別クラス編成を実施しています。入学前のプレACEMENTテスト(本学ではCASECを採用)の結果に基づき、4つのレベルに分けます。

習熟度別に授業を行う目的

英語の運用能力や学修目標の多様化に対応し、習熟度に応じたきめ細かな指導を行うことを目的としています。

レベル分けについて

プレACEMENTテストの結果に基づき、英語能力の高い順から **High Intermediate** **Intermediate** **Pre-Intermediate** **Basic** の4つのレベルに分けたクラス編成を行います。

履修する科目について

同じ到達目標の同じ科目を全員が履修する仕組みではなく、個々のレベルに応じた到達目標を設定した科目を履修する仕組みになっています。各レベルの到達目標、および履修する科目は次項以降を参照してください。

履修の流れ

標準的な
年次配当

	1 年次		2 年次		3・4 年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基幹科目 (※1)	Intensive Advanced English 1・2 (各週2回・3単位)					
	Core English (LS) - Intermediate 1・2 (各週2回・2単位) ^(※2) Core English (RW) - Intermediate 1・2 (各週1回・1単位)		General Academic English (LS) - Intermediate (週1回・1単位) General Academic English (RW) - Intermediate (週1回・1単位)			
	Core English (LS) - Pre-Intermediate 1・2 (各週2回・2単位) ^(※2) Core English (RW) - Pre-Intermediate 1・2 (各週1回・1単位)		General Academic English (LS) - Pre-Intermediate (週1回・1単位) General Academic English (RW) - Pre-Intermediate (週1回・1単位)			
	Basic English (LS) 1・2 (各週2回・2単位) ^(※2) Basic English (RW) 1・2 (各週1回・1単位)					
上級科目			English for Professional Purposes 1・2 (各週1回・1単位) ^(※3)			
			English for Academic Purposes 1・2 (各週1回・2単位) ^(※4)			
					English for Academic Purposes 3 (週1回・2単位) ^(※4)	
留学準備 科目	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2 (各週2回・2単位) ^(※3)					
	Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2 (各週2回・2単位) ^(※3)					
海外留学 プログラム	サマープログラム					
			スプリングプログラム			
					セメスタープログラム	
派遣留学					外国協定大学派遣留学	

(※1) 習熟度のレベルによって履修する科目が異なります。各レベルの到達目標、および履修する科目は次項以降を参照してください。

(※2) 週2回の授業となりますが、対面授業1回、e-Learningによるオンライン授業1回のハイブリッド型の授業となります。利用するe-Learningは46ページを確認してください。

(※3) 登録資格(CASECのスコア)がありますが、選考試験はありません。

(※4) 登録資格(外部テストのスコア)があり、選考試験が行われます。

到達目標

レベル毎にヨーロッパ言語参照枠(CEFR: Common European Framework of Reference for Languages)に準じて設定した到達目標は以下の通りです。

レベル	到達目標(CEFR)
High Intermediate	B2
Intermediate	B1～B2
Pre-Intermediate	A2～B1
Basic	A2

※レベルは入学前に受験したプレACEMENTテストの結果で振り分けられますが、途中でレベルアップすることも可能です。学期の開始前の科目登録期間にCASECを受験する機会を設定しますので受験を希望する場合は、申込みを行った上でCASECを受験してください。スコアに応じたレベルアップが可能です。CASEC受験の申込方法は、本学ホームページで公開する科目登録日程を確認してください。春学期は1月中旬、秋学期は7月中旬に科目登録日程が公開されます。

1・2 年次履修科目

レベル毎に1・2年次で履修する科目は以下の通りです。

レベル	1 年次		2 年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
High Intermediate	Intensive Advanced English 1・2		English for Professional Purposes 1・2 (※1)	
Intermediate	Core English (LS) - Intermediate 1・2 Core English (RW) - Intermediate 1・2		General Academic English (LS) - Intermediate General Academic English (RW) - Intermediate	
Pre-Intermediate	Core English (LS) - Pre-Intermediate 1・2 Core English (RW) - Pre-Intermediate 1・2		General Academic English (LS) - Pre-Intermediate General Academic English (RW) - Pre-Intermediate	
Basic	Basic English (LS) 1・2 Basic English (RW) 1・2		(※2)	

(※1) 「レベル: High Intermediate」は、2年次に上級科目の「English for Professional Purposes 1・2」を履修します。

(※2) 「レベル: Basic」は、2年次に「レベル: Pre-Intermediate」の1年次科目から希望の科目を選択して履修します。

科目概要

基幹科目

Intensive Advanced English1・2

高度な批判的思考力を伴う、英語コミュニケーション能力・文章読解力・文章記述力を兼ね備えた学習者の育成を目的とした科目で、学生個々の興味・関心をもとに個人またはグループでリサーチに取り組み、その成果を発表する機会を含んだ実践・発信型の授業を行います。

Core English (LS)- Intermediate1・2、Core English (RW)- Intermediate1・2

Core English (LS)- Pre-Intermediate1・2、Core English (RW)- Pre-Intermediate1・2

将来を見越した英語学習の基盤づくり(キーコンピテンシー能力の構築)を目指し、英語学習の楽しさや達成感といった学びの質を優先させつつ、批判的思考力を伴うコミュニケーション能力、文章読解力・文章記述力の養成を目的とした科目です。LSはリスニングとスピーキング、RWはリーディングとライティングにフォーカスし、Intermediate、Pre-Intermediateのレベルに合わせた授業を行います。

Basic English (LS)1・2、Basic English (RW)1・2

英語学習の楽しさや達成感を再確認しつつ、基礎的な英語コミュニケーション能力、文章読解力・文章記述力の養成を目的とした科目であり、LSはリスニングとスピーキング、RWはリーディングとライティングにフォーカスした授業を行います。

General Academic English (LS)- Intermediate、General Academic English (RW)- Intermediate

General Academic English (LS)- Pre-Intermediate、General Academic English (RW)- Pre-Intermediate

分野(文系、理系)を横断して共通に求められる英語力と、専門領域(人文・社会・理工)で求められる英語力への基盤づくりを目的とした科目となります。LSはリスニングとスピーキング、RWはリーディングとライティングにフォーカスし、Intermediate、Pre-Intermediateのレベルに合わせた授業を行います。

上級科目

English for Professional Purposes 1・2

高度な批判的思考力を伴う、国内外を問わず英語を職業として使う領域で求められる英語コミュニケーション能力・文章読解力・文章記述力を兼ね備えた学習者・職業人・企業家の育成を目的とした科目となり、リーディング、ライティング、プレゼンテーションにフォーカスした授業を行います。登録資格(CASEC 629点以上)を満たしていれば履修可能です。

English for Academic Purposes 1・2・3

高度な批判的思考力を伴うアカデミックな領域で求められる英語コミュニケーション能力(アカデミック・プレゼンテーションやディスカッション)・文章読解力(論文)・文章記述力(論文)を兼ね備えた「自律し、成長し続ける学習者・研究者」の育成を目的とした科目となり、リーディング、ライティング、プレゼンテーションにフォーカスした授業を行います。英語のコミュニケーション能力の向上はもちろんのこと、論文の記述力、読解力に重点を置いた科目となっています。以下の登録資格を満たし選考試験に合格すれば履修可能です。

科目名	配当 年次	TOEFL ITP® テスト	TOEFL iBT® テスト、 TOEFL iBT® Home Editionテスト 2026年1月20日以前 に実施された試験	TOEFL iBT® Home Editionテスト 2026年1月21日以降 に実施された試験	TOEFL® Essentials™テスト	TOEIC® L&Rテスト TOEIC® L&R IPテスト TOEIC® L&R IPテスト(オンライン)	IELTS™	CASEC
English for Academic Purposes 1	2～	480～	55～	3.0～	6.5～	575～	5～	629～
English for Academic Purposes 2	2～	520～	68～	3.5～	7.5～	650～	5.5～	680～
English for Academic Purposes 3	3～	565～	82～	4.0～	8.5～	730～	6～	740～

※TOEIC® L&Rテストの「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

留学準備科目

Study Abroad Preparation (TOEFL TEST)1・2、Study Abroad Preparation (IELTS)1・2

TOEFL® テストやIELTS™といった留学に必要なテストのスコアアップとともに、留学先での学習シミュレーションを通して、4技能の英語力の向上を目指した科目となっています。登録資格(→8ページ参照)を満たしていれば履修可能です。

海外留学プログラム

サマープログラム、スプリングプログラム

夏期、春期休暇中に海外における短期集中の語学研修に参加し、高度な外国語運用能力を養成するとともに、現地での生活体験を通して、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とした科目となります。

セメスタープログラム

1セメスターにわたり、海外の研修校で集中的に英語研修を受けることによって、英語の運用能力を総合的に高めるとともに、現地での生活体験を通して、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とした科目となります。

1 年次科目 登録方法

この項では1年次で履修可能な全学共通教養教育科目(外国語教育科目)の英語科目の登録方法について紹介します。なお、学部により卒業単位・外国語単位への算入について取扱いが異なるため、詳細は各学部『履修要項』・『登録要領』で必ず確認してください。

基幹科目

Intensive Advanced English1・2	
Core English(LS)- Intermediate1・2	Core English(RW)- Intermediate1・2
Core English(LS)- Pre-Intermediate1・2	Core English(RW)- Pre-Intermediate1・2
Basic English(LS)1・2	Basic English(RW)1・2

対象者:全学部 1年次～

登録方法: 大学がプレイスメントテストの結果をもとに、一括登録する。(登録手続不要)
なお、入学前に実施したプレイスメントテストを受験できなかった場合は、以下の期間に、自宅等のPCでプレイスメントテストを受験する。受験方法(アクセスするURL、受験者ID等)は入学前と異なるため、入学後に案内される受験要領を必ず確認の上、受験すること。

受験期間: 4月1日(水)13:00～4月3日(金)10:30(予定)

自宅等にPCがない場合は、本学の情報教室のPCを利用して受験することも可能だが、学生証、ユーザID通知書が必要となる。本学で利用可能な情報教室は以下のURLから確認すること。

https://it.doshisha.ac.jp/it/equipment/utility_time.html ▶  https://openpc.doshisha.ac.jp/clv/ ▶ 

※受験期間は休講期間となる。休講期間の情報を確認すること。

留学準備科目

Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) 1・2
Study Abroad Preparation(IELTS) 1・2

対象者:全学部 1年次～

開講クラス(各クラス25名定員)

※「曜講」、「担当者」は変更となる可能性があります。
最新のシラバス、登録要領等を確認するようにしてください。

▶ 今出川校地開講

学 期	科 目	クラス	曜 講	担 当 者
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	51	月3・水3	櫃本 一美
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	52	火1・木1	阿部 瞳
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	53	火2・木2	阿部 瞳
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	54	月2・火2	未森 恵子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	55	月3・火3	未森 恵子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	56	火1・木1	鈴木 朋子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	57	火5・土2	鈴木 朋子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	71	月3・水3	櫃本 一美
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	72	火1・木1	阿部 瞳
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	73	火2・木2	阿部 瞳
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	74	月2・火2	未森 恵子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	75	月3・火3	未森 恵子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	76	火1・木1	鈴木 朋子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	77	火5・土2	鈴木 朋子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	51	月4・金5	GEORGIOS GEORGIU
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	52	水4・金4	榎殿 伴子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	53	水5・金5	榎殿 伴子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	71	月4・金5	GEORGIOS GEORGIU
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	72	水4・金4	榎殿 伴子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	73	水5・金5	榎殿 伴子

学 期	科 目	クラス	曜 講	担 当 者
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	51	金3・土1	北岡 一弘
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	52	金4・土2	北岡 一弘
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	71	金3・土2	北岡 一弘
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	72	月5・水5	樫本 一美
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	51	月5・金4	GEORGIOS GEORGIU
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	52	月4・水4	樫本 一美
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	71	月4・水4	樫本 一美
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	72	月5・金4	GEORGIOS GEORGIU

▶ 京田辺校地開講

学 期	科 目	クラス	曜 講	担 当 者
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	1	火5・土2	小林 英雄
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	2	月2・金4	本間 三恵子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	3	月1・金4	三代 ディーpty
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	4	火1・金3	大橋 ケイティー
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	1	火5・木5	LUCAS KEVIN
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	2	火2・金4	佐野 直子
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	1	火2・木5	CANDY
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	1	火5・木5	LUCAS KEVIN

登録資格

科目名	CASEC
Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1 Study Abroad Preparation (IELTS) 1	550点以上679点以下
Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2 Study Abroad Preparation (IELTS) 2	680点以上

▶ 登録を希望する場合は

登録を希望する開講校地のクラスについて、4月3日(金)17:00までに学修支援システムDUETで希望申請を行う。
※登録資格を満たしていれば科目登録可能です。希望者が定員を超えた場合は抽選で登録者を決定します。
抽選後、定員を満たしていないクラスは追加募集を行います。詳細は各学部『登録要項』で確認してください。

海外留学プログラム

サマープログラムA・B・C

対象者:全学部 1年次～

登録方法: 登録を希望する人は、募集説明会に参加してください。2026年度募集説明会は、今出川校地は2026年4月9・10日、
京田辺校地は4月8日に実施します。日時・場所については以下のURLに公開している募集案内を確認してください。

https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/summer.html ▶



スプリングプログラム 英語A・B・C

対象者:全学部 1年次～

登録方法: 登録を希望する人は、2026年6月中旬に実施予定の2026年度募集説明会に参加してください。2026年度募集説明
会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2026年5月中旬に公開する予定です)。

https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/spring.html ▶



セメスタープログラム 英語I・II

対象者:全学部2年次～(選考時は1年次生)

登録方法: 2026年度の募集は終了しています。登録を希望する人は、2026年12月上旬に実施予定の2027年度募集
説明会に参加してください。2027年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内
を確認してください(2026年11月上旬に公開する予定です)。

https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/semester.html ▶



同志社英語集中プログラムについて

目 的

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(→54ページ参照)」を受講し、海外留学を実現できるよう、学問を深めていくために必要な
英語力を習得することを目的としています。具体的には、Speaking、Listening、Reading、Writingのスキル向上と英語によるアカデミック
スキルの習得を目指します。「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を履修する上で、英語力に自信がない場合は、このプログラム
を受講することをおすすめします。



正 課 科 目

- English for Professional Purposes1 1単位
- English for Professional Purposes2 1単位
- English for Academic Purposes 1 2単位
- English for Academic Purposes 2 2単位
- Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1 2単位
- Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2 2単位
- Study Abroad Preparation (IELTS) 1 2単位
- Study Abroad Preparation (IELTS) 2 2単位

課 外 講 座

- TOEFL ITP®テスト対策講座 ほか

本プログラムでは、英語力とアカデミックスキルを向上させる
ために、効率的な学習方法をアドバイスし、集中的に英語を
学習する機会を提供します。
2026年度の講座内容詳細は、国際課HPを確認するよう
にしてください。



2 初修外国語科目

Foreign
Languages Other
than English



ドイツ語 フランス語 中国語 スペイン語 ロシア語 コリア語

同志社大学では、全ての学生が英語に加えてもうひとつの外国語を学びます。この英語以外の外国語のことを大学入学後に初めて修める外国語ということで「初修外国語」と呼び、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語が提供されています。

「外国語」というと皆さんの多くは英語のことを真っ先に思い浮かべることでしょう。しかし、グローバル化が進むこれからの社会では、英語はもちろん、その他の言語の習得も求められるようになっています。ただし、言語は単なるスキルではありません。新しい外国語を学ぶことは、新しい価値観や文化に触れることにつながるからこそ、大学生が身につけるべき教養として位置づけられているのです。外国語学習は、私たちがこれまで知らず知らずのうちに身につけてきたものの見方が絶対的なものではないことを教えてくれるものでもあります。世界に対する複眼的な視点を獲得するためにも、在学中、英語以外の外国語の学習にも積極的に取り組んでみてください。

初修外国語科目学習プログラムの特徴

Point
1

初修外国語として、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語を提供しており、英語以外の外国語の学習に取り組むカリキュラムになっています。

Point
2

レギュラー・コース、インテンシヴ・コースを準備しており、インテンシヴ・コースはレギュラー・コースに比べ、少人数でコミュニケーション能力に力点を置いた内容になっています。

Point
3

レギュラー・コース、インテンシヴ・コースに加えて、会話科目や海外留学プログラム、上級科目を提供しており、皆さんの学習意欲に応じて受講できるようになっています。

履修の流れ

標準的な 年次配当	1 年次		2 年次		3・4 年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
レギュラー・ コース	入門Ⅰ (週2回連動・2単位)	入門Ⅱ (週2回連動・2単位)	応用1 (週1回・1単位)	応用3 (週1回・1単位)	言語文化原典演習1・2(各週1回・2単位)	
					文化事情1・2(各週1回・2単位)	
			応用2 (週1回・1単位)	応用4 (週1回・1単位)	表現法1・2(各週1回・2単位)	
					現代地域事情・上級講読1・2(各週1回・2単位)	
インテンシヴ・ コース	インテンシヴⅠ (週3回連動・3単位)	インテンシヴⅡ (週3回連動・3単位)	インテンシヴⅢ (週3回連動・3単位)	インテンシヴⅣ (週3回連動・3単位)	インテンシヴⅤ・Ⅵ／Ⅶ・Ⅷ (各週2回連動・2単位)	
会話科目	会話初級1・2(各週1回・1単位)					
			会話中級1・2(各週1回・1単位)			
					会話上級1・2(各週1回・1単位)	
海外留学 プログラム			サマープログラム			
		スプリングプログラム(ロシア語を除く)				
			セメスタープログラム(ドイツ語のみ)			
派遣留学			外国協定大学派遣留学			

※中国語会話初級は2年次以上、同中級は3年次以上、同上級は4年次から履修。

学習要項

1・2年次科目

▶ レギュラー・コース

1年次で「入門Ⅰ・Ⅱ」(週2回)、2年次で「応用Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」(週1回)を履修します。「入門」は基本的な発音や文法知識、語彙の習得を目的としています。「入門」はグレード制(ローマ数字の若い番号から順番に履修する必要がある)のため「入門Ⅰ」に合格しなければ「入門Ⅱ」へは進めません。「応用」は「入門」で身につけた外国語運用能力をさらに高め、文化理解への関心を広げることを目的としています。

▶ インテンシヴ・コース

1年次で「インテンシヴⅠ・Ⅱ」(週3回)、2年次で「インテンシヴⅢ・Ⅳ」(週3回)を履修します。レギュラー・コースより少人数で、コミュニケーション能力に力点を置いた内容となります。週3回授業がありますので、初修外国語の学習に力を注ぎたいと考えている場合は、ぜひトライしてみてください。「インテンシヴ」はグレード制のため、「インテンシヴⅠ」に合格しなければ「インテンシヴⅡ」へは進めません。

※1年次で「レギュラー・コース」に登録していた学生でも、2年次に「インテンシヴ・コース」に移ることは可能です。また、逆に1年次に「インテンシヴ・コース」に登録し、2年次から「レギュラー・コース」に移ることも可能です。

海外留学プログラム

夏期・春期休暇中は、海外の大学で勉強する「サマープログラム」、「スプリングプログラム」に参加できます。「サマープログラム」は2年次以上、「スプリングプログラム」は1年次生から参加可能です。【詳細はP.21】さらに、2019年度から同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで「セメスタープログラム」(ドイツ語のみ)も開講され、1セメスターにわたって研修地に滞在し、現地での語学研修を受けます。また、「セメスタープログラム」は同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで開講する特色を生かし、全学共通教養教育科目である「Intercultural Studies」「EUキャンパス特別講義」をセットで登録し、ドイツ・ヨーロッパでの学びを深化させる科目構成になっています。

※「スプリングプログラム」は、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・コリア語で開講されています。
※「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」「Intercultural Studies」「EUキャンパス特別講義」の総称を「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」としています。詳細は、37ページを確認してください。

3・4年次科目

4年間を通してスキルアップを図るよう上級科目が用意されています。「留学の準備をしたい」「専門文献が読めるようになりたい」「留学から戻って来て外国語の力を維持、向上させたい」など、それぞれの関心や課題に照らして科目の履修を検討してみてください。

▶ 「インテンシヴⅤ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ」

実践的なコミュニケーション能力を中心に総合的な外国語運用能力のブラッシュアップを図るとともに、文化的理解のさらなる向上を目指します。
※インテンシヴの開講状況は各言語によって異なります。フランス語・中国語は「インテンシヴⅠ～Ⅶ」、ドイツ語・スペイン語・コリア語は「インテンシヴⅠ～Ⅵ」、ロシア語は「インテンシヴⅠ～Ⅳ」を開講しています。

▶ 「言語文化原典演習Ⅰ・Ⅱ」

外国語の読解力向上を目的とし、各言語の文献を読み、内容の理解を通じて背景にある文化的事象への認識を深められるようにします。

▶ 「現代地域事情・上級講読Ⅰ・Ⅱ」

現代性・地域性に重点を置いた教材を用いて、現代社会における当該文化圏の特徴をさらに深く理解できるようにします。

▶ 「文化事情Ⅰ・Ⅱ」

視聴覚教材などを用いてインプット能力を向上させることを目的とし、各言語の視聴覚エンターテインメント、マスメディアなどに触れ、当該文化圏に関する多くの知識を習得できるようにします。

▶ 「表現法Ⅰ・Ⅱ」

各言語の小論文やエッセイの執筆、ディベートなどを取り込み、書く・話すといった発信能力の向上を目的とし、様々な課題に取り組みながら自文化および異文化に対する理解や認識を深められるようにします。

初修外国語会話科目

初級から上級までの「会話」クラスが用意されています。レギュラー・コース、インテンシヴ・コースの授業だけでは物足りない場合や会話能力をより向上させたい場合は、自分のレベルに合う授業を選んで履修してください。

P.12 から紹介する各外国語の先生からのメッセージも参考に、自分に合う外国語を選んで学習してください。

ドイツ語 German



REGINE DIETH 准教授

Sie kennen bestimmt schon einige deutsche Wörter.

Im Japanischen gibt es viele deutsche Lehnwörter, wie z. B. Röntgen, Gelände, Arbeit, Gummi oder Baumkuchen. In der Meiji-Zeit wurden nämlich zahlreiche Begriffe aus Deutschland nach Japan eingeführt. Interessieren Sie sich dafür? Dann sollten wir zusammen Deutsch lernen!

こんにちは！

皆さんはドイツ語の単語をいくつか知っていますか？実は日本語にはレントゲン、ゲレンデ、アルバイト、グミ、バウムクーヘンなどドイツ語からの借用語がかなりあります。なぜなら、日本は明治時代に多くの概念をドイツから導入したからです。興味を持ちましたか？それではドイツ語と一緒に学んでみませんか？

ドイツ語は、英語と同じインド・ヨーロッパ語族の中のゲルマン語系の言語です。現在、ドイツ、スイス、オーストリア、ルクセンブルク、ベルギーの公用語で、EU域内ではフランス語と並んでよく使われています。ドイツ語は、ヨーロッパの歴史・文化・社会・経済・政治について知るうえで、きわめて重要な言語です。

本学ではレギュラー・コースの他にインテンシヴ・コース、会話・表現に特化した授業に加え、ドイツ語圏の地域事情について講読する授業が開講されています。春や夏にはドイツで行われる海外研修プログラム

も用意されています。2019年度からは同志社大学チュービンゲンEUキャンパスでのセメスタープログラムも開設されました。また12月初旬には「ドイツ語検定試験A1/A2」という世界で通用するゲーテ・ドイツ語検定試験も本学で実施しています。

サッカー、音楽、ビールに尽きない日独間の文化・学術交流には長い歴史があります。私たちの日常生活に浸透している「ドイツ」を発見する旅と一緒に出てみませんか？

Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

▶ レギュラー・コース

ドイツ語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

ドイツ語を「読み、書き、聞く、話す」ための技能を、無理なく自然に身につけるための授業です。入門Ⅰ(第1セメスター)では、ドイツ語の文字と発音、ドイツ語の骨格をなす動詞の変化と名詞・代名詞・冠詞類等の変化、現在時称などを学びながら、少しずつドイツ語で表現することを学習します。

ドイツ語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

入門Ⅱ(第2セメスター)では、入門Ⅰに続き、さらに多様な文法事項を学びつつ、もう少し立ち入った表現や場面に対応できるドイツ語の学習に進みます。「ヨーロッパ言語共通参照枠」に基づく検定試験「ドイツ語検定試験A1」に合格するレベルに達することを目標とします。

▶ インテンシヴ・コース

ドイツ語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

日本語ネイティブ教員とドイツ語ネイティブ教員による週3回の授業です。文法事項の進捗は入門Ⅰ、Ⅱに準じていますが、週3回のクラスなので、口頭練習や聞き取り練習により大きな重点を置くことで、入門Ⅰ、Ⅱと差異化されます。ドイツ語の学習意欲がはっきりしている学生向けのクラスです。

ドイツ語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

インテンシヴⅠと同様に、日本語ネイティブ教員とドイツ語ネイティブ教員による週3回の授業です。過去形や現在完了形を使った過去の出来事の表現、命令形や依頼の表現等、様々な文法事項を学びながら、いっそう立ち入った表現や場面にも対応できるドイツ語の学習に進みます。「ヨーロッパ言語共通参照枠」に基づく「ドイツ語検定試験A1」に良い成績で合格するレベルに到達することを目標とします。

フランス語 French



GHISLAIN MOUTON 助教

Regardons la carte du monde.

Le Japon est un « archipel »,
Quelle est la forme de la France
métropolitaine ? En français,
on l'appelle « l'Hexagone ».
N'oublions pas le fait
qu'il existe des pays francophones
dans le monde entier.

こんにちは！

世界地図を見ましょう。日本は「列島」です。フランスはどんな形ですか？フランス語でフランスは「六角形(Hexagone)」と呼ばれます。同じように、フランス語圏が世界中に存在するという事実についても考えてみましょう。

言語を学ぶのは、コミュニケーション・ツールを身につけるためだけでなく、自分たちとは異なる価値観や異なる人間の生き方を理解するためでもあります。これらは21世紀のグローバル化された世界で生きるために必要です。

フランスは歴史的に多くの優れた文学者や思想家・哲学者、科学者を生み出しました。フランス語を学ぶことは、皆さんに自分たちとは異なるものに触れ、様々なことを考えるきっかけをもたらせてくれるでしょう。

入門Ⅰ・ⅡやインテンシヴⅠ・Ⅱで初歩を学び、応用Ⅰ～4やインテンシ

ヴⅢ・Ⅳに進みましょう。コミュニケーション能力を磨くには会話クラス、さらに高度なフランス語を学ぶには上級講読やインテンシヴV・VI、インテンシヴVII・VIII、表現法、言語文化原典演習などがあります。最終的な到達レベルは、実用フランス語技能検定試験(仏検)2級～準1級もしくは「ヨーロッパ言語共通参照枠」に基づくフランス語学力資格試験DELFのB1～B2です。

Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

▶ レギュラー・コース

フランス語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

フランス語の表現の仕組みと発音の基本を理解し、名詞・形容詞の性・数や基本的なタイプの動詞の現在形を正しく用いて簡単なフランス語の文を組み立てたり、話したりできるようになることを目指します。到達目標は仏検5級程度です。

フランス語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

動詞の過去時制、いろいろな代名詞(直接・間接目的語代名詞、中性代名詞、関係代名詞、疑問代名詞など)、様々な構文を学習し、より複雑な文を理解できるようになることを目指します。到達目標は仏検4級程度です。

▶ インテンシヴ・コース

フランス語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

挨拶、人物紹介、買い物、道案内等の表現ができるようになることを目標に、系統的な語彙習得と文法(名詞・形容詞の性・数、重要な動詞の習得など、おおむね入門Ⅰの文法と同じ)の授業が組まれています。コミュニケーション能力を身につけることに重点を置きます。到達目標は仏検5級程度です。

フランス語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

日常生活や仕事について表現できることを目標に、系統的な語彙習得と文法(「入門Ⅱ」の「文法」の範囲に対応する内容)の授業が組まれています。担当教員同士で連絡を取り合い、聞き取る、話す、読む、書く、総合的な力がつくような授業を行います。到達目標は仏検4級もしくはDELF A1です。

中国語 Chinese

大家好!

日本和中国互为重要的邻国,这点是毋庸置疑的。无论在文化层面还是经济领域,我们都需要共同努力,构建互惠互利的关系。也就是说,未来社会必然还会需要那些学习汉语、了解中国的人才。

然而,很多人似乎还没有意识到,日中之间的文化差异其实比想象中要大得多。对日本来说,中国这个国家,看似距离很近,却又有些遥不可及。但是,正因为它不易理解,换个角度想,也意味着它非常值得外国同学去深入学习和了解。中国会从根本上撼动你的思维方式。在那之后,迎接你的不仅是商务和旅游上的便利,还有一个广阔而深邃的中国世界。

日本と中国がお互いに重要な隣国であることは言うまでもなく、文化面でも経済面でも、互恵関係を築く努力が求められています。即ち、中国語を学び、中国を理解できる人材がこれからも必要とされるのは間違いありません。ところが、日中間の文化的ギャップが意外に大きいことはあまり認識されていないようです。実は近くて遠い国、それが中国です。しかし、理解が難しいということは、逆に考えれば、それだけ学びがいがあるのです。中国はあなたの思考を根っこからゆさぶってくれるでしょう。その先には、ビジネスや観光に役立つだけではなく、広く深い中国の世界が待っています。

張 索娟 准教授

中国語の特徴の第一は、一切の格変化がないことです。格変化の規則や不規則変化に悩まれた人は嬉し涙を流すにちがいありません。ついでに名詞に男性・女性の区別也没有。複雑な文法規則が少ないという点では入門しやすい言語と言えるでしょう。ただし、入りやすいが出るのは難しい一部の外国の大学のように、習得にはそれなりの努力が必要です。まず、漢字は発音を表しませんので、発音はピンインと呼ばれるローマ字表記法で覚えてもらわねばなりません。また発音の

特徴として、全ての単語に高低の抑揚があります。こればかりはカタカナでは表記できませんので、みなさんも必ずピンインを覚えましょう。ピンインを制する者は中国語を制す、そうすれば、あなたも音楽的に美しい中国語を必ず話せるようになります。

スペイン語 Spanish

¡Hola!

Bienvenidos al mundo hispano.
El español es la lengua de España y muchos países de Latinoamérica. ¿Conoces el Machu Picchu y la Sagrada Familia? ¿Los tacos y la paella? ¿La salsa y el flamenco?
El español es la puerta de entrada a una cultura única. ¿Por qué no aprendes español?
¡Nos vemos en la clase!

こんにちは!
スペイン語の世界へようこそ。
スペイン語は、スペインやラテンアメリカの多くの国々の言語です。マチュ・ピチュやサグラダ・ファミリアを知っていますか? タコスやパエリアは? そして、サルサやフラメンコはどうでしょうか?
スペイン語は、ユニークな文化への扉です。そんなスペイン語を学んでみてはどうでしょうか?
では、授業でお会いしましょう!

PEREZ RIOBO ANDRES 准教授

スペイン語は、スペインと中南米地域を中心として、現在20を超える国家と地域の公用語として4億人以上の人びとに用いられており、英語に匹敵する汎用性を備えていると言っても過言ではありません。今後、スペイン語の話者数や需要はますます伸びていくと予想されています。スペイン語は、日本人にとって発音面では相性がよく、すぐに馴染むことができます。入門ⅠやインテンシヴⅠではabcから学習を始めますが、努力次第でスペイン語がどんどん聴き取れるようになるはずですよ。

その反面、英語と比べると、文法が複雑で覚えるのが大変だと感じられるかもしれません。しかし、それはスペイン語が持つ魅力の一つでもあります。スペイン語を学習すれば、スペインだけでなく、中南米や米国のヒスパニック・コミュニティへと世界が広がります。新しい扉を開き、自分の世界を広げる第一歩として、ぜひスペイン語にチャレンジしてみてください。

Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

▶ レギュラー・コース

中国語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

中国語の発音をピンインと呼ばれる発音表記法によって身につけます。その後、挨拶や自己紹介などの簡単な日常会話、さらに初歩的文法を身につけることを目標とします。

中国語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

入門Ⅰで学んだ内容を定着させながら、中国語の発音をより確実なものにすると同時に、基礎的表現と文法の習得を目標とします。

▶ インテンシヴ・コース

中国語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

中国語の発音をピンインと呼ばれる発音表記法によって身につけます。その後、挨拶や自己紹介などの簡単な日常会話、さらに初歩的文法を身につけ、中国語コミュニケーション能力の基礎を養うことを目標とします。

中国語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

インテンシヴⅠや入門Ⅰで中国語の発音や基礎的表現と文法を学んだ学生が、さらに語彙や文法を習得し、その後の学習の基礎となる力を身につけることを目標とします。

Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

▶ レギュラー・コース

スペイン語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

スペイン語のアルファベットと発音から学習を始め、動詞現在形の規則・不規則活用や基礎的な文法事項(名詞、形容詞、指示詞、所有詞、疑問詞、目的格人称代名詞等)を身につけ、平易なスペイン語を理解し、挨拶、自己紹介などの簡単な表現ができるようになることを目標とします。

スペイン語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

入門Ⅰで学習した内容を基礎とした上で、動詞の様々な時制の活用とその用法、再帰動詞、関係詞、比較、さらに命令等の文法事項を学習し、より幅広いスペイン語の表現を理解し、また自らも表現できるようになることを目標とします。

▶ インテンシヴ・コース

スペイン語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

スペイン語のアルファベットと発音から学習を始め、動詞現在形の規則・不規則活用や基礎的な文法事項(名詞、形容詞、指示詞、所有詞、疑問詞、目的格人称代名詞等)の習得を目標とします。日本人とネイティブの教員がペアを組み、発音、会話等、発信面の能力強化も重視します。

スペイン語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

インテンシヴⅠで学習した内容を基礎とした上で、動詞の様々な時制の活用とその用法、再帰動詞、関係詞、比較、さらに命令等の文法事項を学習し、より幅広いスペイン語の表現が理解できるようになることを目標とします。日本人とネイティブの教員がペアを組み、発音、会話等、発信面の能力強化も重視します。

ロシア語 Russian



NECHAEVA ANGELINA 助教

Добрый день! Русский язык является одним из ключевых языков в мировой политике и культуре, а изучение русского языка – это дверь в Русский мир. Изучая язык, вы получите представление и понимание о многообразии Русской цивилизации, которая сформировалась в том числе и благодаря русскому языку. Знание основ русского языка станет вашим преимуществом. Изучайте русский язык с нами!

こんにちは！ロシア語は世界の政治や文化のなかの重要な言語の一つであり、ロシア語を学ぶことはロシアの世界への入口になります。ロシア語を学べば、それが形作るロシア的文明の多様性を理解できるようになるでしょう。ロシア語の基礎を身につけることはあなたの力となり、自信につながりますよ。私たちと一緒にロシア語を学びましょう！

ズドラーストヴィチェ(こんにちは)！ロシア語は難しいというイメージを持っていませんか？教科書や辞書、会話集をうまく使えば、短い期間でもある程度ロシア語を使えるようになりますよ。世界では約3億人がロシア語を話していますが、その半分は母語ではなく第二言語としてロシア語を話しているそうです。入門の授業ではまず文字の発音から始めて、少しずつ文法を学びます。ロシア語の響きを初めて聞くと、音楽のようだと感じるかもしれません。ドストエフスキーやトルストイといった有名な作家もロシア語で書きましたし、美しい音楽を作り出したチャイ

コフスキーやラフマニノフもロシア語で話しました。有名なフィギュアスケートの選手のなかにもたくさんのロシア語話者がいますね。同志社大学には文学や絵画、音楽、歴史、政治、経済、言語学、スポーツなど、様々な関心を持つロシア語担当教員がいます。ぜひ私たちと一緒にロシア語に触れて、その多様な魅力を感じ取ってください。

ロシア語 Korean



朴 鍾厚 准教授

K-Culture의 K는 Korea! 도시사대학에서 코리아어를 배워 보지 않으실래요? 주로 한반도(대한민국과 조선민주주의인민공화국)에서 사용하는 언어를 도시사대학에서는 코리아어라고 부르고 있습니다. 오랜 세월 일본 열도와 교류하며 지내 온 한민족의 언어. 이제 K-Culture 확산과 함께 세계 곳곳에서 사용하고 있습니다. 코리아어를 통해 세계로!

こんにちは！K-Cultureの「K」は「Korea!」同志社大学でロシア語を学んでみませんか？主に朝鮮半島(大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国)で話されている言語を、同志社大学の初修外国語科目としては「ロシア語」と呼んでいます。長い間日本列島と交流して来た朝鮮民族の言語、今はK-Cultureの拡散と共に世界で使われています。ロシア語を通じて世界へ。

ロシア語は日本語母語話者にとって、とても学びやすい言語だといわれます。その理由の一つは文法が非常に似ているからです。例えば日本語とほぼ同じ語順や、助詞の使用には親しみやすさを感じるでしょう。もちろん難しさもあります。全く新しい文字を覚えなければならず、日本語でも英語でも使わない発音もあるため、学習者の努力が求められるのも事実です。それでも「入門Ⅰ・Ⅱ」まで終えれば、とりえず辞書を片手にロシア語のコラムや論説文を読めるようになります。

また、習ったことを旅行先などで思い切って口に出してみれば、ロシア語でコミュニケーションできる自分に気づくはずです。さらに韓流好きの人なら、ドラマやK-POPの理解できる言葉がどんどん増えていくでしょう。私たちロシア語担当教員は、このように魅力あふれるロシア語に意欲的に挑戦する皆さんを待っています。

Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

▶ レギュラー・コース

ロシア語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

ロシア語で使われているキリル文字の習得、発音に始まり、動詞の3つの時制、名詞・代名詞の6つの格変化、形容詞・持ち主を表すことばの性・数変化等、ロシア語文法の基礎をひと通り学び終えます。半年の学習によって、ロシア語の文章の組み立てを理解し、簡単な挨拶ができるようになることを目標とします。

ロシア語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

入門Ⅱでは入門Ⅰとは別の教科書を用い、軟変化や不規則な変化、動詞の命令形、数詞と名詞の結合、形容詞の短語尾・比較級・最上級等、入門Ⅰでは学ばなかった文法事項を学習するとともに、ロシア語を使って話す能力、ロシア語を聞きとる能力、ロシア語を読む能力の育成を目指します。ロシア語で簡単な会話ができるようになるだけでなく、単語帳を与えられれば簡単なロシア語の文章が読めるようになることを目標とします。

▶ インテンシヴ・コース

ロシア語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

ロシア語を集中的に勉強して身につけたいと希望する学生のための特別クラスです。日本人の教員は文字と発音の勉強から文法の基礎まで、教科書に沿って説明をし、ネイティブの教員はその進度に合わせて、発音練習を行ったり、話したり、聞いたりする訓練を行います。ロシア語の文章の組み立てが理解できるとともに、ロシア語で簡単な挨拶ができるようになることを目標とします。

ロシア語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

日本人の教員は、動詞の時制と体、関係代名詞、数詞の表現、比較級、最上級等ロシア語の文献を読むのに必要な文法事項をひと通り教え、ネイティブの教員はロシア語でのコミュニケーション能力の育成を図ります。ロシア語で簡単な会話ができるようになることと、辞書を引けば簡単なロシア語のテキストが読めるようになることを目標とします。

Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

▶ レギュラー・コース

ロシア語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

ロシア語の文字(ハングル)と発音の学習から始め、日本語の「です・ます」体に相当する丁寧な表現、名詞文、物の有無を表す表現、数の表し方、過去形等の文法事項を体系的に学習します。学習終了後に簡単な日記が書けることを目標とします。

ロシア語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

入門Ⅰに引き続き、尊敬、連体形(現在／過去／未来)、否定形といった表現や変則活用などの初級レベルの文法事項を体系的に学習し、辞書を使って、簡単な文を作ったり訳したりできることを目標にします。また、文章語の基本となる한다体(日本語の「である」体または「だ」体に相当)を学習し、初級レベルを完成させます。

▶ インテンシヴ・コース

ロシア語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

インテンシヴⅠ・Ⅱを通じて初級レベルの文法事項・会話・作文を完成させます。文字と発音の練習から学習を始め、日本語の「です・ます」体に相当する丁寧な表現、名詞文、物の有無を表す表現、数の表し方、過去形等の文法事項を体系的に学習します。また、慣用的な言いまわしを用いた挨拶や自己紹介などができ、自分の知っている単語を用いて簡単な文章が書けることを目標とします。

ロシア語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

基本的な助詞をはじめ、聞き手に対する丁寧さを含まない表現、連体形の現在・過去・未来、尊敬表現、変則用言等や、可能・不可能・義務・可否等の基本的な慣用句を学び、初級レベルの文法事項を完成させます。また状況・場面に応じた適切な挨拶や紹介・対応、平易な句や文章の正しい音読、辞書を引きながらの内容理解、自分の知っている単語を用いた簡単な作文ができることを目標とします。

1 年次科目 登録方法

この項では1年次で履修可能な科目の登録方法について説明します。

1年次で履修可能な全学共通教養教育科目(外国語教育科目)の初修外国語科目は、以下のとおりです。

ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語各外国語の

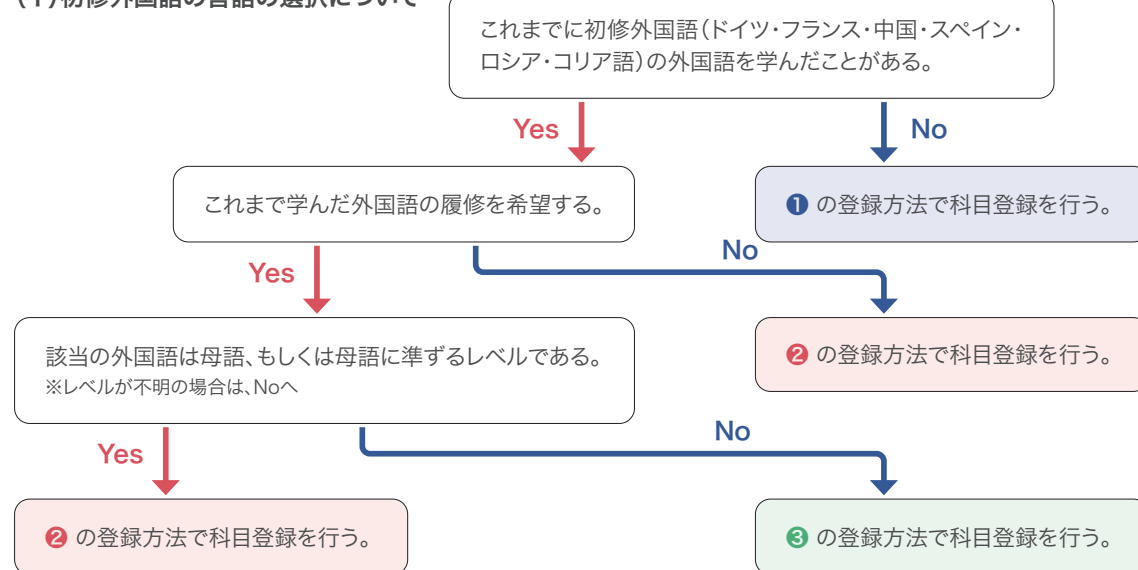
- 入門Ⅰ・Ⅱ、インテンシヴⅠ・Ⅱ
- 会話Ⅰ・Ⅱ(中国語を除く)
- サマープログラム
- スプリングプログラム(ロシア語を除く)
- セメスタープログラム(ドイツ語のみ)

※サマープログラム、セメスタープログラム(ドイツ語のみ)は、1年次に選考を受けることで、2年次に履修することができます。

学部により卒業単位・外国語単位への算入について取扱いが異なるため、詳細は各学部『履修要項』『登録要領』で必ず確認してください。

まず、初修外国語の言語の選択、および登録方法について説明します。本学で提供している初修外国語をこれまで学んだことがある場合がありますので、初修外国語の言語の選択は、(1)のフローに従って行い、指定された登録方法で手続きを行ってください。登録方法については(2)を確認してください。ただし、外国人留学生で日本語の登録を希望する場合は、所属学部の履修要項・登録要領、または「日本語・日本文化教育科目 履修の手引き」で科目の取扱い、および登録方法を確認の上、手続きを行ってください。

(1) 初修外国語の言語の選択について



(2) 初修外国語の登録方法について

(1)のフローで指定された登録方法は以下の①～③となります。確認の上、手続きを行ってください。

- ①: 学修支援システムDUETで初修外国語の入門Ⅰ・Ⅱ、またはインテンシヴⅠ・Ⅱの登録申請を行う。
- ②: 学修支援システムDUETでこれまで学んでいない外国語の入門Ⅰ・Ⅱ、またはインテンシヴⅠ・Ⅱの登録申請を行う。
- ③: 初修外国語科目登録認定で該当外国語の教員の面談を受ける。面談は主たる通学校地の初修外国語科目登録認定で受けること。日時、場所は以下のとおり。

4月2日(木) 15:00～16:00 京田辺校地: 恵道館104・106教室 今出川校地: 良心館205教室

4月4日(土) 10:00～11:00、12:30～13:30 京田辺校地: 知真館1号館132教室 今出川校地: 良心館205教室

面談の結果により、これまで学んだ外国語をレベルに合わせて登録するが、母語、もしくは母語に準ずるレベルの場合は、これまで学んでいない外国語の入門Ⅰ・Ⅱ、またはインテンシヴⅠ・Ⅱを登録する。

①、②の場合は次ページにある学修支援システムDUETでの登録方法を確認して、手続きを行ってください。

入門Ⅰ・Ⅱ、インテンシヴⅠ・Ⅱ、会話Ⅰ・Ⅱ

登録方法: 4月3日(金)17時までに学修支援システムDUETで各自登録する。

▶ 学修支援システムDUETでの登録方法

大学HP上部の「訪問者別」にマウスポインタ(カーソル)を合わせ、『在学生の方』をクリック。スクロールしてページ下部の「コンテンツガイド」を表示。なお、スマートフォンの場合は右上のメニューボタン(☰)から『在学生の方』を選択。

コンテンツガイド

知りたい項目をクリックすると、関連するコンテンツの一覧が表示されます。



学修支援システムDUET マニュアル(動画)



1 DUETへログインする

以下の手順でマニュアル(動画)を確認してDUETへログインしてください。

- ① 大学HPを開いて、ページ上部の「訪問者別」にマウスポインタ(カーソル)を合わせ、『在学生の方』をクリックしてください。なお、スマートフォンの場合は右上のメニューボタン(☰)から『在学生の方』ページを下にスクロールして「コンテンツガイド」へ移動してください。
- ② 「授業・履修・試験」を選択して『科目登録日程』をクリックしてください。
- ③ 科目登録日程の画面が表示されますので、下にスクロールして「学修支援システムDUET マニュアル(動画)」へ移動してください。『ログイン方法』のサムネイルをクリックするとマニュアル(動画)が表示されますので、確認してDUETへログインしてください。

2 履修手续をする

先行登録科目の画面へ

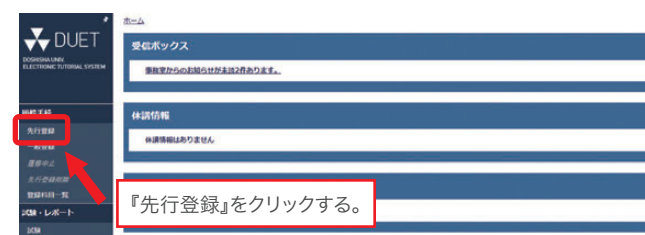
ログインが完了したら、ご自身のページが開きます。左上の『先行登録』というボタンをクリックしてください。

【「入門Ⅰ・Ⅱ」を希望する場合】

(複数の科目をまとめて抽選するもの)にある「ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシア・コリア語入門」の『+申請』ボタンをクリックしてください。

【「インテンシヴⅠ・Ⅱ」「会話Ⅰ・Ⅱ」を希望する場合】

各学部の履修要項で、全学共通教養教育科目の外国語教育科目がどのカテゴリ(1類、2類など)に存在するのか確認し、該当するカテゴリの『+申請』ボタンをクリックしてください。なお、「インテンシヴⅠ・Ⅱ」「会話Ⅰ・Ⅱ」は、外国語ごとに分かれていまして、複数語部(ドイツ語とフランス語など)申請すると複数当選する可能性があります。申請する際には注意してください。



インテンシヴⅠ・Ⅱ、会話Ⅰ・Ⅱは履修要項で全学共通教養教育科目外国語教育科目のカテゴリ(1類、2類など)を確認し、該当するカテゴリの『+申請』ボタンをクリックする。

「ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシア・コリア語入門」の『+申請』ボタンをクリックする。

コンテンツガイド

知りたい項目をクリックすると、関連するコンテンツの一覧が表示されます。

システム・情報教育環境	Webシングルサインオン	Microsoft365
授業・履修・試験	同志社大学ポータル	学修支援システムDUET
学びの深化	シラバスシステム	e-class
免許・資格		

2 履修手続をする(つづき)

【「入門Ⅰ・Ⅱ」登録画面へ】

「ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシア・コリア語入門」の『+申請』ボタンをクリックしてください。

【「入門Ⅰ・Ⅱ」登録希望申請へ】

① 登録希望順位を設定してください。

例えば、ドイツ語が第1希望、中国語が第2希望、コリア語が第3希望であれば、「ドイツ語入門Ⅰ・Ⅱ」の申請欄の下矢印ボタンを押して、「第1希望」を選択してください。同様の手順で、中国語は「第2希望」、コリア語は「第3希望」と設定してください。(申請は必ず第5希望まで申請してください。)

② 登録希望順位の設定を終えたら、画面の左上にある『+申請』ボタンをクリックしてください。

【「入門Ⅰ・Ⅱ」登録エラー確認→申請確定】

① エラー科目がないことを確認してください。
② エラー科目がなければ、『申請確定』ボタンをクリックしてください。

重要！

・先登登録希望申請を完了した際には、DUETの「先登登録」の画面を再度開き、自分が行った希望申請が正しく反映されているか、必ず確認してください。
また、希望申請後、申請内容が大学より交付されたメールアドレス宛 (Microsoft 365) に E-mail で送付されますので、こちらも必ず確認してください。
ただし、E-mailは希望申請後すぐには届かないことがありますのでご注意ください。

・Microsoft 365は大学HP上部にある「訪問者別」にマウスポインタ(マウスカーソル)を合わせて「在学生の方」をクリックし、ページ下部の「コンテンツガイド」の「システム・情報教育環境」『Microsoft 365』のボタンをクリックしてログインしてください。また、大学より交付されたメールアドレスは、「ユーザID通知書」で確認できます。

3 決定した外国語科目・クラスを確認する

① 『先登登録』をクリックしてください。
② これまでの申請科目とその抽選結果が確認できます。申請した科目の結果発表は、4月4日(土)0時になります。

サマープログラム ドイツ語B、フランス語、中国語B、スペイン語、ロシア語、コリア語

対象者：全学部2年次～(選考時は1年次生)

授業概要：夏期休暇中に現地での集中的語学研修(約4週間)に参加し、各外国語の実践能力を養成するとともに、現地での生活体験を通して異文化に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

登録方法：2026年度の募集は終了しています。登録を希望する人は、2026年12月上旬に実施予定の2027年度募集説明会に参加してください。2027年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2026年11月上旬に公開する予定です)。

https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/summer.html



スプリングプログラム ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語B、コリア語

対象者：全学部1年次～

授業概要：春期休暇中に現地での集中的語学研修(2週間～5週間)に参加し、各外国語の実践能力を養成するとともに、現地での生活体験を通して異文化に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

登録方法：登録を希望する人は、2026年6月中旬に実施予定の2026年度募集説明会に参加してください。2026年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2026年5月中旬に公開する予定です)。

https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/spring.html



セメスタープログラム ドイツ語Ⅰ・Ⅱ

対象者：全学部2年次～(選考時は1年次生)

授業概要：春学期の1セメスター(約4か月間)、本学の海外キャンパスである同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで集中的に語学研修に参加し、高度な外国語運用能力を養成するとともに、現地での生活体験を通してその国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

登録方法：2026年度の募集は終了しています。登録を希望する人は、2026年10月上旬に実施予定の2027年度募集説明会に参加してください。2027年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2026年9月上旬に公開する予定です)。

https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/eucampusprogram/eucampusprogram_depg.html



※「セメスタープログラム ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」は同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで実施する「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の一部の科目となります。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の詳細は、37ページを確認してください。

3 海外留学プログラム

Short-term
Study-Abroad
Programs



サマープログラム、スプリングプログラム、セメスタープログラムは、本学の外国語教育の中に有機的に位置づけられているものです。自分の学んでいる言語を実生活の中で使い、その背景にある文化や社会に直接触れることはかけがえのない体験です。たとえ短期間のプログラムであっても、その体験がこれからの語学力向上や国際人としての成長のきっかけとなる可能性はとても大きいものです。異文化での体験の種が、やがて大きく花開くようにと、本学では様々なレベルとアプローチからなる外国語教育科目が提供されています。海外留学プログラムに参加する前にも後にも、貴重な体験をより有意義なものにする科目がたくさんありますのでチェックしてみましょう。また、これらのプログラムに参加し、現地での生活を実際に体験した後に、次は長期派遣留学に挑戦するのも良いでしょう。本学では学生の海外留学を支援するために、奨学金も準備しています。入学後、ぜひ早い段階から語学カウンセリング(→51ページ参照)などを活用し、海外留学プログラムや外国語の学習について各語部の教員に気軽に相談してみてください。より明確で具体的な目標を立てて外国語学習を進めていくことで、大学生活がきわめて充実したものになるだけでなく、将来の豊かなキャリア形成にも確実につながっていきます。ぜひ、チャレンジしてみてください！

海外留学プログラムの特徴

Point 1

正課科目として、短期(2～5週間)、中期(4か月)のプログラムを提供しており、留学に関する奨学金もあります。また、短期プログラムであるサマープログラム、スプリングプログラムは1年次から受講可能です(初修外国語のサマープログラムは2年次生から受講可能)。

Point 2

語学研修だけではなく、異文化体験もプログラムに含まれており、語学力向上と同時に国際人としての成長のきっかけとなります。

Point 3

短期、中期プログラムの次のステップとして、大学間協定、学部間協定による派遣留学で専門分野の勉強を行うことが可能となっており、皆さんの学習意欲に応じて受講できるようになっています。

海外留学プログラム一覧

https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/overview.html ▶



▶ 2025年度 スプリングプログラム

科 目 名	単位数	研 修 校・研 修 地		研 修 期 間	募 集 人 数
英語A	4	ホーソン・メルボルン英語学校	(オーストラリア)	2026年 2 月13日～ 3 月15日	約25名(最少催行人員:20名)
		ヨーク大学	(イギリス)	2026年 2 月14日～ 3 月18日	約24名(最少催行人員:10名)
		オタゴ大学	(ニュージーランド)	2026年 2 月17日～ 3 月22日	約30名(最少催行人員:10名)
英語B	3	オークランド大学	(ニュージーランド)	2026年 2 月 7 日～ 3 月 8 日	約30名(最少催行人員:12名)
英語C	2	カリフォルニア大学アーバイン校	(アメリカ)	2026年 2 月16日～ 3 月10日	約19名(最少催行人員:10名)
英語D	1	(2025年度開講なし)			
ドイツ語	3	フライブルク大学	(ドイツ)	2026年 3 月 2 日～ 3 月29日	約20名(最少催行人員:1名)
フランス語	3	CAVILAM -Alliance française (クレルモン・フェラン大学監修)	(フランス)	2026年 2 月11日～ 3 月16日	約20名(最少催行人員:5名)
中国語	1	華東師範大学	(中国)	2026年 3 月 7 日～ 3 月21日	約20名(最少催行人員:1名)
スペイン語	3	サラマンカ大学	(スペイン)	2026年 2 月19日～ 3 月18日	約20名(最少催行人員:10名)
コリア語	3	慶熙大学	(韓国)	2026年 3 月 2 日～ 3 月24日	約20名(最少催行人員:1名)

▶ 2026年度 サマープログラム(英語)

科 目 名	単位数	研 修 校・研 修 地		研 修 期 間	募 集 人 数
英 語 A	4	ヨーク大学	(イギリス)	2026年 8 月 2 日～ 9 月 2 日	約24名(最少催行人員:12名)
		ディーキン大学	(オーストラリア)	2026年 8 月 4 日～ 9 月13日	約20名(最少催行人員:5名)
		ゲルフ大学	(カナダ)	2026年 8 月 2 日～ 8 月23日	約25名(最少催行人員:15名)
英 語 B	3	カリフォルニア大学デービス校	(アメリカ)	2026年 8 月 6 日～ 9 月 6 日	約25名(最少催行人員:10名)
		コーク・カレッジ大学	(アイルランド)	2026年 8 月 2 日～ 8 月30日	約15名(最少催行人員:1名)
		オークランド大学	(ニュージーランド)	2026年 8 月 8 日～ 9 月 6 日	約30名(最少催行人員:3名)
		カリフォルニア大学サンディエゴ校	(アメリカ)	2026年 8 月 2 日～ 8 月31日	約20名(最少催行人員:10名)
		ケンブリッジ大学	(イギリス)	2026年 8 月 8 日～ 8 月30日	約34名(最少催行人員:30名)

▶ 2026年度 サマープログラム(初修外国語)

科 目 名	単位数	研 修 校・研 修 地		研 修 期 間	募 集 人 数
ドイツ語A	4	(2026年度開講なし)			
ドイツ語B	3	マルティン・ルター大学	(ドイツ)	2026年 8 月 1 日～ 8 月28日	約20名(最少催行人員:1名)
フランス語	4	マリー・エ・ルイ・バスターール大学 (旧:フランシュ＝コンテ大学)	(フランス)	2026年 7 月31日～ 8 月30日	約25名(最少催行人員:5名)
中国語B	3	北京大学	(中国)	2026年 8 月 2 日～ 8 月30日	約20名(最少催行人員:6名)
スペイン語	4	コスタリカ・ラテン大学	(コスタリカ)	2026年 8 月 1 日～ 9 月 1 日	約20名(最少催行人員:8名)
ロシア語	4	ロシア国立サンクト・ペテルブルク経済大学	(ロシア)	(2026年度開講なし)	
コリア語	3	延世大学	(韓国)	2026年 8 月27日～ 9 月19日	約20名(最少催行人員:7名)

▶ 2026年度 セメスタープログラム

科 目 名	単位数	研 修 校・研修地		研 修 期 間	募 集 人 数
英 語Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱ 各4	ディーキン大学	(オーストラリア)	2026年 8 月 4 日～12月 6 日	約30名(最少催行人員:10名)
		ハワイ大学	(アメリカ)	(2026年度開講なし)	
		ゲルフ大学	(カナダ)	2026年 9 月 6 日～12月19日	約30名(最少催行人員:10名)
ドイツ語Ⅰ・Ⅱ(※)		テュービンゲン大学	(ドイツ)	2026年 3 月 1 日～ 8 月 7 日	約15名(最少催行人員:10名)

※「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」は、同志社大学チュービンゲンEUキャンパスで実施する「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の一部の科目となります。
「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の詳細は、37ページを確認してください。

英語 スプリングプログラム

English

スプリングプログラム 英語 A ヨーク大学 [イギリス]

プログラム期間
2025年2月14日(金)～3月16日(日)

Report of the instructor

このプログラムは、イギリス・ヨーク市にあるヨーク大学での英語集中プログラムです。春休みの4週間を利用して、週5日同志社大学の学生に特化した英語の授業・英国社会・文化についてのプロジェクトが用意されています。現地学生による大学ツアーで主要な場所、図書館、教室を学生目線で案内してもらえるため、キャンパス生活には効率よく馴染むことができるでしょう。滞在はホームステイで、イギリスのファミリーと語らいながらヨーク大学の学生生活を体験できます。また、映画「ハリーポッター」に出てくる中世の街並みシャンブルズ訪問、北ヨーロッパ最大のゴシック様式の大聖堂、ヨーク・ミンスターの見



学等、魅力的なフィールドトリップも用意されていて、興味深いイギリスの歴史や文化を学ぶことができます。過年度のプログラム参加者たちは自由時間を利用して、近隣の街へ足を伸ばしたり、英国ならではのアフタヌーンティーやフットボールを楽しんだりしています。ヨーク大学での授業プログラム後は、ロンドンで2泊3日の自由時間もあり、毎年満足度は高く、参加すれば、きっと貴重な異文化の学びが得られることでしょう。



体験記

" 言葉をこえる助け合い "

1. 留学中に苦勞した点・それを乗り越えた方法

日々のバスの乗車、飲食店でのメニューの注文、街歩き中に迷子になったり、日本とは異なる慣れない土地での生活は、日常生活における苦勞が多々ありました。イギリスのバスは、日本のように時間通りに来ることは稀で、バス停で待っていても通り過ぎたり、途中で路線が変わったりします。そのため、常に早めに行動して余裕を持ち、自分が今どこにいるのか把握し、冷静に対処することを意識しました。また飲食店では、メニューを読んでも実際の料理を想像することが難しかったので、インターネットで調べたり、店員さんにどれくらいの量でどんな味なのかを確認しました。町で迷子になった際には、Google mapだけではなく、人に道を尋ねることを繰り返しました。こうした経験を通して、いつも思い切っ

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

日常的に英語を使うことへの抵抗がなくなりました。留学前は、間違った英語を話したくない気持ちがあり、英語を話すことのハードルが高い傾向にありました。しかし、留学中、語彙や文法を多少間違えても、相手とコミュニケーションが取れることがわかり、間違えても気にせずたくさん話せば良いと感じました。間違えても、相手は自分の話の続きを推測して理解してくれるだろうと考え、聞き手への信頼度が増し、とにかく話してみるという経験をたくさん積むことができました。そのおかげで、間違えても大丈夫、むしろ間違いから学ぼうとする、楽観的な思考と粘り強さを得ました。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

1か月間の留学を通して、日本との文化、生活、考え方、働き方の違いを身をもって体験しました。日本が利便性を重視した働き方をしているのに対し、イギリスでは一人ひとりが生活を重視し、ゆったりとした生き方をしていました。一人ひとりがじっくり自分と向き合って話をしっかり聞き、答えてくれるので、たとえ自分の話す英語が拙くても、困っていて助けてほしいと伝えれば、助けてくれました。そのため、外国人といっても同じ人間で、言語の壁を越えて協力でき、日本以外の海外でも十分暮らしていけると実感しました。そして、将来、海外で働きたいという思いが大きく芽生えました。今後は、海外で働くことを選択肢に置いて就職活動をしたいと思います。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

もし留学することに迷っているなら、思い切って参加してほしいです。特に海外は初めてという方にお勧めします。ヨークは、イギリスの中でも非常に治安が良く、街並みが綺麗で、人が優しいです。英語が流暢でなくとも、ホストファミリー、大学、一緒に行く仲間が絶対に助けてくれます。長期・短期にかかわらず、一度海外に飛び込み、もっと海外に暮らしたいと思うか、日本の方が良いと感じるかなど、留学中に自分がどう感じ、そこからどうなりたいか、日本以外の経験を通して考えてほしいです。1か月という短い期間ですが、英語のみでの授業、アクティビティ、旅行など新しい発見が日々あります。その機会を大学生活の中で掴むことで、考え方、視野、将来住む場所の選択肢の拡大、まだ未知な新しい自分に出会えます。少しでも留学に行ってみたいと思う方ぜひ参加してください。少しの勇気が新しく楽しい経験をもたらすと確信します。LET'S GO!

(2023年度参加)

スプリングプログラム 英語 B オークランド大学 [ニュージーランド]

プログラム期間
2025年2月8日(土)～3月9日(日)

Report of the instructor

オークランド大学は、世界大学ランキング(QS世界大学ランキング65位)で常にトップ100にランクインしており、海外からの学生7,000人を含む4万人以上が学んでいます。国際的に認められた学位は、卒業後に世界で活躍できる力を育てます。

ニュージーランド最大の都市オークランド(人口170万人)に位置し、都会の便利さと豊かな自然を両立する環境が魅力です。学生は、美しい港やビーチ、島々、自然歩道を楽しみながら、安全で住みやすく、太平洋やアジアの文化が融合した活気ある街を体験できます。

大学では、乗馬やバンジージャンプ、週末の島への小旅行など、多彩なアクティビティやオプションツアーも充実しており、学び以外の時間も思い切り楽しめます。



留学生は English Language Academy (ELA) で英語力を伸ばし、インタラクティブな授業とマオリの「ケア」と「おもてなし」の価値観

に基づく教育を受けることができます。世界中から集まる仲間と共に学び、国際色豊かで温かい環境の中で成長できます。また、ELAは現地の家庭でのホームステイもサポートし、実践的で本格的なニュージーランド文化を体験することができます。

オークランド大学では、学生は英語力を高めながら多様な文化に触れ、学業と学生生活の両方で充実した経験を積むことができます。世界トップクラスの教育と活気ある都市生活を同時に楽しめる環境です。

体験記

" 困難も楽しみに変えることができました "

1. 留学中に苦勞した点・それを乗り越えた方法

私が留学中最も苦勞した点は、自分の意見・自分の感情を正確に伝えることでした。特に、授業では必ず自分の意見を持つことが求められていたように感じました。使用できる言語は英語のみという授業スタイルがとられており、当初は困惑しました。自分の使える表現の中から何とか意見や感情を伝えようとしてもなかなかクラスメイトや先生に伝わらず苦勞したものの、授業スタイルになれるにつれて、言いたい表現を伝えるために自宅で学習したり、先生に質問したりすることで講義の後半にはその授業スタイルを楽しむことができました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

私は、今回の留学において精神面・語学力で自分が成長したと感じます。まず語学力については、ホームステイ先でホストファミリーと時間を過ごし会話を交わす中で、日常会話に関する英語力は確実に向上したと感じています。精神面に関しては、例えば電

車の乗り換え方法や商品の詳細について自分から尋ね会話することで鍛えられたと感じますし、留学前に不安だった言語の壁は乗り越えることができると実感しました。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

私にとって今回が初の海外渡航で、自分の英語力にそれほど自信があったわけではないですが1か月間の留学で日常生活に困ることはない程度には自分の英語力があると気が付きました。これから3年生になって就活が始まりますが、就活の際に自分の選択の幅を少しでも広げられるように留学で高まった言語学習へのモチベーションを大切に、資格取得に向かって勉強を進めていく予定です。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私がこのプログラムに参加しようとしたきっかけは、アルバイト先に来る外国人の方にもっと適切な接客をしたいという些細なものでした。加えて、この留学を通じて日本での資格試験などのモチベーション維持に繋がればという思いもあってこのプログラムに参加しました。しかしながら、1か月間の留学を終えてみて私の想像以上のものを得て日本に帰ってくることができたように感じます。

(2024年度参加)



英語 スプリングプログラム

English

スプリングプログラム 英語C カリフォルニア大学アーバイン校 [アメリカ]

プログラム期間
2025年2月17日(月)～3月11日(火)

Report of the instructor

本プログラムでは、アメリカ西海岸にあるカリフォルニア大学アーバイン校のContinuing Education部門が実施するLanguage and Communication Programに参加し、3週間の語学研修を行います。授業はアメリカの英語教育認定機関(Commission on English Language Program Accreditation)から認められた質の高い内容です。

平日午前は授業があり、9:00～10:20はSpeaking & Listening、10:30～11:50はAmerican Cultureのクラスを受講します。午後には近隣施設の見学や現地学生との交流イベントが予定されています。また、合計12時間



のConversation Partner Meetingでは、同志社大学生4人に対してUCI学生1人がつき、少人数で会話やゲーム、スポーツなどを楽しみながら英語力を伸ばします。

週末にはハリウッドツアー、ディズニーランド、NBA観戦などに参加できるオプションツアーもあります。滞在はホームステイで、ホストファミ

リーとの生活を通じて、生きた英語と文化を体験します。

多文化・多民族社会であるアメリカ、とりわけカリフォルニアでの留学を通して、新しい価値観や多様性に触れることができます。本プログラムが英語力の向上だけでなく、グローバル社会で活躍するための一歩となれば幸いです。



体験記

"「失敗は成功のもと」を肌で感じた留学でした！"

1. 留学中に苦勞した点・それを乗り越えた方法

私が留学中に苦勞した点は、コミュニケーションです。特に、細かなニュアンスの違いを上手く伝えられず苦勞しました。授業やホストマザーとの会話において、日本語ならもっと詳しく説明して話を広げられるのに…と何度も悔しい思いをしました。その時に、必ず聞く・調べる、または自分の知っている単語を活用して話す、そして学んだ言葉は実際に使ってみることを徹底しました。自分の言葉が上手く伝わった時、本当に嬉しかったのを今でも覚えています。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

自分が成長したと思う点は失敗を恐れなくなったことです。私は今まで間違えることに抵抗がありました。しかし、授業の中で、先生はよく"Don't be afraid of making mistakes"と声かけをして下さり、挑戦したことをまず称賛して下さいました。そのような経験から、何でも挑戦してみる・間違いがあってもそれは逆に成長のチャンスが生まれたんだとポジティブな気持ちを持てるようになりました。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

今回の留学では、多様な価値観・背景・文化に触れました。これから沢山の人と出会うなかで、今回の留学で学んだコミュニケーションの仕方など、関係構築の方法を生かしていきたいです。また、今回の留学を通して、さらに語学力向上のモチベーションが高まりました。就職活動に向けての資格勉強や日本でも英語に触れる機会を作ろうと思います。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

日本人だけで行って本当に学べるのかな?と留学に行くまでは不安に思っていました。しかし、結局は自分がどれだけ英語を話す努力をするかで留学の充実度は変わると感じました。「失敗は成功のもと」を肌で感じたこの留学。教科書だけでは学びきれない生きた英語を知れる機会であり、心の底からおすすめします!少しでも興味があるなら、まず説明会に行き実際の声を聞くと思います。

(2024年度参加)

英語 サマープログラム

English

サマープログラム 英語A ゲルフ大学 [カナダ]

プログラム期間
2025年8月3日(日)～8月24日(日)

Report of the instructor

本プログラムは、カナダ・オンタリオ州にあるゲルフ大学により提供される、国際ビジネスに特化したカスタマイズプログラムです。ここではプレゼンテーション、ビジネス文書作成、ビジネスコミュニケーションなどの講義を通してビジネス英語運用能力の向上を図ると共に、国際ビジネスの基礎知識、ビジネスマナー、キャリア構築、マーケティング、リーダーシップなどについて集中的に英語で学びます。加えて、現地の企業やボランティア団体を訪問して体験したりする内容も含まれています。

ゲルフ大学は学生満足度、キャンパスの雰囲気、治安等で高い評価を得ており、これまで



本プログラムに参加した同志社生の満足度も

高いです。学生は大学の施設を自由に使うことができるほか、現地学生や

コミュニティと交流する機会もあります。プログラム期間中は全員がホームステイをして、カナダの人々との交流や、文化、習慣を学ぶ貴重な経験ができます。さらに、カナダ最大の都市トロントから車で約1時間半の距離にあり、週末の日帰りツアーではトロントやナイアガラの滝を訪ねます。3週間という限られた時間ではありますが、英語とカナダについて大いに学ぶことができる本プログラムを強くお勧めします。



体験記

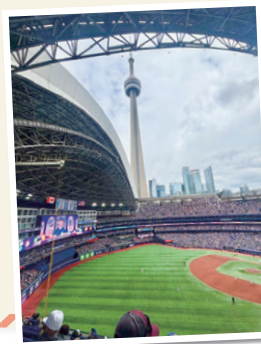
" 小さな挑戦が確実な成長へ "

1. 留学中に苦勞した点・それを乗り越えた方法

留学中に苦勞したのは、ホームステイ先にもう一人日本人がいたことです。私にとって初めてのホームステイで、日本人がいることは安心しましたが、日本語を使ってしまうことが多くなり、英語力の向上につながらないのではないかと不安を感じました。そこで、「リビングでは絶対に英語を使う」とルールを決め、日本人同士で話す際も分からないときはホストファミリーの助けを借りながら英語で会話をしました。また、もう一人の日本人が起きる前にリビングに行き、ホストマザーと一対一で話す時間を毎朝つくるようにしました。こうした習慣づけで、自然と英語で会話する機会を増やすことができ、自信にもつながりました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

今回の留学で自分が成長したと思う点は英語を学ぶ意欲と行動力です。授業で扱った教科書のリスニングはスピードが速く、語彙も難しかったため全く聞き取れず苦勞しましたが、寝る前に繰り返し聞き、分からない単語をノートにまとめることで、教科書のリスニングを完全に理解するまでには至らなくとも、日常会話の英語をある程度楽しみながら理解できるようになり、「もっと学びたい」という意欲が高まりました。また、分からないことだらけだったため、大学内で道を尋ねる、どの列車に乗るのか聞く、レストランでメニューの違いについて質問するなど、失敗を恐れずに行動する習慣も身につけることが出来ました。こうした小さな挑戦が自分の行動力を伸ばしてくれたと感じています。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

今回の留学を通して、異なる文化に触れる楽しさを実感し、将来は海外と関係のある仕事に就きたいと感じました。留学中に培った、英語を楽しく学ぶ意欲を今後も大切に、日々の学習や日常生活のなかで英語力を高めていきたいと考えています。同時に、主体的に行動する力、柔軟なコミュニケーション能力を磨き、様々な場面でこの経験を活かしていきたいです。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

このプログラムに参加したことで、沢山の経験が出来ました。ホームステイ、海外の大学での授業、英語での長いプレゼンテーションやナイアガラの滝、メジャーリーグ観戦など、初めての連続で興味や好奇心が次々に湧いてくる、刺激的な夏を過ごすことができました。渡航前は英語、特にスピーキングに自信が無かった私でも会話が楽しい、英語が楽しいと感じ、毎日学習を続け、自信をつけることが出来ました。不安だらけだった私でも最終日のホストファミリーとの別れの際には涙したほど参加して良かったと心から思えるプログラムでした。参加を検討されている方はぜひ挑戦してみてください。(2025年度参加)

サマープログラム 英語B コーク・カレッジ大学 [アイルランド]

プログラム期間
2025年8月3日(日)～8月31日(日)

Report of the instructor

コーク大学(UCC)は、アイルランド共和国の歴史ある港町に位置する1845年創設の国立大学です。本プログラムでは、大学付属のランゲージセンターが主催するサマープログラムに参加し、各国からの留学生とともに英語を学びます。午前中は、レベル別に振り分けられた英語クラスで、語学力の向上をはかります。グループワークやプレゼンテーションを通じて、自分の考えや思いを言葉にすることの難しさや、多様な背景を持つクラスメイトとコミュニケーションをとる楽しさをぜひ経験してください。午後はアイルランド文化・社会についてのレクチャーや近隣へのフィールドトリップなどの機会が用意されています。



アイルランド固有の表現やアイリッシュ・アクト、独特の「パブ文化」を知ることは、学んだ英語を実践する素晴らしい機会となるでしょう。

た、ホームステイで現地の人がとの日常生活に触れることができるのも大きな魅力です。コークのシティーセンターはそれほど大きくはありませんが治安が良く、午後や週末を過ごすには安心できる環境と言えます。最後に、アイルランド共和国は、EU加盟国のなかで数少ない英語を公用語とする国です。緑豊かな自然に恵まれた環境で、隣接するイギリスとはまた異なるアイルランド独自の歴史・文化・社会についての理解を深めながら、ヨーロッパのなかにあるダイナミズムに触れてください。

体験記

" 少しの勇気が大きな自信に "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

ホストファミリーの英語が聞き取れなかったことです。アイルランド独特の発音に苦戦しました。乗り越えられたとは言えませんが、方法としてはわかるまで聞き返すことです。学校の先生はアイルランド出身ではない先生が多く、ホストファミリーと会話を重ねて徐々に慣れていきました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

積極性です。この留学は1か月と短い期間だったので、留学にいく前から「初めから積極的に話す」ことを目標にしていました。授業でも1週目から積極的に発言し、グループワークでたくさん意見を出したりと積極的に英語を使っていました。わからないことがあると授業終わりに先生に聞きにいったり、友達に聞いたり英語を使うことを恐れずにコミュニケーションをたくさんとっていくことで積極性が身につきました。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

英語関係の仕事ではありませんが就職先はすでに決まっています。そのためこれから英語を使う機会は減っていきませんが、就職してから留学で得た積極性や様々なことに対する好奇心を常に忘れないようにしたいと思います。また将来海外で働くことも視野に入れていたので、今回の留学が「海外で働きたい」という諦めかけていた思いを現実的に考えられるきっかけとなりました。この留学で得た英語へのモチベーションを新たな目標達成の糧として持ち続けていきたいです。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

1か月という短い期間ではできることが本当に少ないです。そのため留学前に「自分は何をしたいのか」ということをよく考える必要があると思います。初めは緊張したり不安や恥じらいがありました。しかしそれを克服するには自信をつけるしかないと思い、緊張している中でも授業で一言、二言発言してみました。このことがとても自信につながりました。そこから簡単な単語や短い文章を発していくことで更なる自信につながり、英語を話すことがとても楽しくなりました。難しすぎても簡単すぎても面白くないので授業のレベルも自分のあったところが一番良いと思います。このsummer school が私にとって今まで受けた中で一番楽しかった英語の授業でした。(2023年度参加)



サマープログラム 英語B ケンブリッジ大学 [イギリス]

プログラム期間
2025年8月9日(土)～8月31日(日)

Report of the instructor

ケンブリッジ大学はイギリスで2番目に古い名門大学です。本プログラムではケンブリッジ大学中央部にあるセント・キャサリンズ・カレッジに3週間滞在し、英語やイギリス文化を学びます。緑豊かな大学内の眺めは素晴らしく、すぐ近くにケンブリッジの中心街があるので、歴史ある寮で便利かつ安全な環境で留学生活ができます。参加費には、飛行機代・授業料の他、一日三食の食事代(指定カフェテリアで食べる場合)、フィールドトリップ費用やロンドンの演劇鑑賞代などが全て含まれています。

授業はブレイスメントテストで4クラスに分かれ、自分のレベルにあった授業を受けることが可



能です。個性豊かな教授陣による、発音や英語表現、異文化理解やビジネスなど様々な観点から工夫を凝らした授業が展開されます。週末にはロンドン観光や周辺地域へのフィールドトリップも用意されています。

本プログラムの最大の特徴は、ケンブリッジ大生から成る数名のTAが寮で一緒に暮らし、手厚いサポートをしてくれることです。TAとは午後のアクティビティの時間を一緒に過ごし、日常的な英語でのコミュニケーションを日々実践することができます。また、定員が多いため、様々な学部、学年の参加者が交流し切磋琢磨できる絶好の機会となっています。ぜひケンブリッジで貴重な夏休みを過ごしてください。



体験記

" 消極的な自分を捨て、充実した留学に "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

中高校生の時に短期留学をした経験から、積極性が大事だということを強く感じていたので、今回はその点を特に意識して行動していました。もともと私は自分に自信がない性格ですが、この3週間は性格を捨てたことで、後悔なく一日一日を過ごせました。また、「やらずに後悔するよりは、やって後悔する方がよい」というルールを作ったことで消極的になってしまう場面は少なかったように感じています。苦労した出来事に対して、長く落ち込まずに気持ちを切り替えることが重要だと考えています。苦労したことも後で振り返ると思い出になると思います。小さな苦労話ですが、夜23時30分以降にシャワーが冷水になることを知らずに、シャワーを使い、冷水でシャワーを浴びました。ですが、その苦労も今では思い出です。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

イギリスについての知識や理解が深まったことです。日本の学校では、アメリカ英語を学習するので、イギリス英語に触れる機会が今までありませんでした。また、米国、カナダ、オーストラリアなどの英語圏への渡航経験はありましたが、イギリスは初めてでした。ですので、今回の留学では、新たな発見がいっぱいで、毎日ワクワクしながら過ごしていました。今まで訪れた国とイギリスの文化や国民性の違いを自分の中で分析し、イギリスのことをたくさん知り、イギリスの文化を実際に体験したことで、自身の経験値を増やすことができました。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

就職先では、英語を使う機会があります。ですので、今回の留学で得た英語学習へのモチベーションを継続したまま入社できればと考えています。また、帰国後、外国人観光客の方と英語で接するアルバイトを始めたので、今回の留学先で学んだこと(例えば、話す時に抑揚をつけることが大切なこと)を活かしていきたいと思っています。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私は、「イギリスの文化や生活を体験したい、社会人になったら経験できないことをしたい」という目的で今回の留学に参加しました。このプログラムは私の目的にぴったりだったと思います。ケンブリッジ大学の歴史ある寮で生活できたことは、学生時代にしかできない貴重な経験となりました。また、寮の立地が良く、寮から徒歩圏内に、生活に必要なものから観光まで、全てのものが揃っていることが、非常に良かったです。授業、先生やTAさんとの会話で、語学力の向上が期待できると思います。先生やTAさんとお話しできたことは、間違いなく、この留学での最高の思い出です。このプログラムは、同志生だけのプログラムのため、いろいろな国の方と話したいという目的を持っている方は他のプログラムと比較してみるといいと思います。私は、このプログラムに参加できて良かったとの底から感じています。(2024年度参加)



英語 セマスタープログラム

English

セマスタープログラム 英語 I・II ディーキン大学 [オーストラリア]

プログラム期間
2025年8月12日(火)～12月14日(日)

Report of the instructor

本プログラムは、本学の協定大学でもあるディーキン大学の付属英語学校 (Deakin University English Language Institute: DUELI) で学ぶ1セマスタの海外英語研修プログラムです。1974年創立のディーキン大学は比較的新しい大学ですが、その実践的な教育により、オーストラリア国内外で高い評価を得ています。留学生向けの英語教育にも定評があり、世界中から多くの留学生を受け入れています。

DUELIでは各学生のレベルとニーズに合わせた様々なコースが提供されています。総合的な学術英語スキルの向上を目指す一般英語コースや英語圏の大学への正規留学を目指す学



生のための大学進学準備英語コース、IELTS対策コースなどがあり、学生は自身の英語力と目的に合わせてコースを選択することが可能です。

キャンパスがあるビクトリア州メルボルンは、歴史ある街並みと近代的な建造物とが見事に融合し、世界で最も住みやすい都市ランキングで7年連続1位に選ばれたことがあります。異なる言語、宗教、食文化をもった移民が多く住む都市でもあり、多様性を肌で感じながら快適な留学生活を送ることができるでしょう。



体験記

" Whyを求められる文化の中で将来像が明確に "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

英会話教室での経験はあったものの、英語ネイティブの人との会話では、スラングやイディオムの多さ、話すスピードの速さ、慣れしていないことから当初は思うように話せず苦戦しました。そこで、日本から持参した簡単な動詞と助動詞の組み合わせで表現を広げるといったテーマの本や学習系YouTubeで、日常会話で使える表現をインプットし、それを実際の会話で積極的に使うというインプットとアウトプットのサイクルを意識して学習しました。その結果、徐々に自信を持って会話できるようになったと思います。

また、さまざまな国の学生がおり、教材の音源とは異なり人それぞれアクセントや話す速度が違うため当初は苦労しました。聞き取れず会話が止まることもありましたが、聞き返したり言い換えをお願いしたりしながら諦めずに交流を続けたことで、次第に耳が慣れ、円滑に意思疎通ができるようになり、今ではとても仲の良い友達に出来ました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

今回の留学で、リスニング力、スピーキング力、挑戦する姿勢、そして価値観の面で成長を実感しました。リスニングでは、英語音声・英語字幕で海外ドラマや映画を視聴しながら、インプットした語彙やセンテンスの使い方を視覚的に理解し、楽しみながら定着させることができました。今ではニュースの大まかな流れを把握でき、会話も8割程度は理解できるようになったと思います。スピーキングでは、英語に囲まれた環境を活かし、日本語からできるだけ離れ、授業中と休み時間は英語で会話し、多様なバックグラウンドを持つ学生たちと積極的に交流したことで、冗談を交えながら自然に会話を楽しめるようになりました。また、失敗を恐れず英語を使い続けたことで自信が付き、Whyを求められる文化の中で自分の考えや価値観と向き合って思考が深まり人として成長すると共に将来の夢を見つけることができました。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

この留学を通して格段に向上した実践的な英語力を活かし、就職活動で重要となるTOEICやIELTSの高得点取得を目標に、学習を続けています。留学中は実際のコミュニケーションを通して英語を使う力を身につけたため、今後はそれを客観的なスコアとして証明したいと考えています。また、これまで述べた通り、留学経験を通じて自分の本当にやりたいことを見つけることができた点が、最大の収穫でした。この経験で培った語学力、挑戦する姿勢、そして明確になった将来像を軸に、主体的に行動できる人材として就職活動に臨んでいきたいと思っています。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

このプログラムを通して、実践的な英語力のみではなく、人として大きく成長できたと心から感じています。特に、人生や恋愛について相談できるほどホストマザーと深い関係を築けたことは、私にとってかけがえのない経験でした。長い人生の中でさまざまなことを乗り越えてきたマザーの言葉は、迷ったときの指針となり、私の価値観をやさしく、しかし確実に広げてくれました。帰国した今も連絡を取り合っています。また、ホストファミリーや、仲良くなったマザーの友達、学校でできた友達のおかげで私の居場所が日本だけでなく、オーストラリアにも増えた気がして物理的にも心理的にも私の世界が広がりました。お金はたくさんかかるし異国に知らない人と住むのはなかなか勇気がいることですが、その金額の何倍もの収穫があり、またこの経験はあなたの価値観や人生さえも変えてくれるものだと思います。

(2025年度参加)



ドイツ語 サマープログラム

German

サマープログラム ドイツ語 B マルティン・ルター大学 [ドイツ]

プログラム期間
2025年8月1日(金)～8月29日(金)

Report of the instructor

サマープログラム ドイツ語B (マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク) は、ドイツ北東部に位置する歴史的な都市で開講される、3週間の夏期語学研修講座です。講座が開講されるマルティン・ルター大学は、ハレとルターシュタット・ヴィッテンベルクに位置するドイツの中で最も古い大学の一つであり、この地で宗教改革を起こしたマルティン・ルターやフィリップ・メランヒトンらも教鞭をとった由緒ある大学でもあります。授業では、世界各地から集まった学生たちに囲まれながら、実践的なドイツ語を身につけるだけでなく、ドイツの文化、社会、経済とヨーロッパの歴史や現状についても学びます。



平日はマルティン・ルター大学国際サマーアカデミーの専門スタッフによるコミュニケーションを重視したドイツ語のインテンシブな授業があります。こうした語学プログラムに加え、文化プログラムとして現地の歴史的建築物の見学、ワー

クショップ、スポーツ、ライブツィヒへのエクスカージョン(グループの日帰り旅行)なども企画されています。また週末には、自分で計画を立て、首都ベルリン、ポツダム、ドレスデンなどドイツ東部に位置する諸都市への日帰り旅行もできます。ヴィッテンベルクの近郊や市内にも豊かな自然やドイツ史の重要な舞台となった魅力的な場所が多く、近場でもドイツの文化と社会を満喫することができますでしょう。

参加者はホームステイをしますので、ドイツの家庭での日常を体験できるだけでなく、ホストファミリーと交わされる日常会話は、実践的なドイツ語を学ぶ貴重な機会となります。

体験記

" 飛び込んで初めて感じることの大切さ "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

私が留学中に一番苦労したことは授業で出てくる単語でした。私が振り分けられたクラスの授業ではドイツの歴史、文化、政治など多彩なテーマを扱いました。そのため先生が説明する内容はとても複雑で、配布される読み物にも自分が知らない単語が続々と出てきました。私は難解な単語が出てくる都度その意味を調べ、ノートにメモするようにしました。すると、2、3週間目から徐々に先生の言うことや読み物に書いてあることがわかるようになってきました。そのようにして、留学期間中、私は単語に悩まされながらも、新しい単語を覚えていくことができました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

今回の留学で私が成長したと思う点は、やはり語学力です。このプログラムに参加する前は、言いたいことがあっても的確な表現がわからず、うまく表現できないこともありましたが、ドイツに1か月滞在し、常にドイツ語を聞き、ドイツ語でのコミュニケーションが求められる状況になると、なんとなくですがドイツ語のコツのようなものがわかってきました。そして留学の終わりごろには、留学前よりもはるかにスムーズにコミュニケーションがとれるようになっていました。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

今回の1か月のドイツ滞在中、自分が知らない新たなドイツの側面を見つけることができました。ある週末、旧東ドイツ時代の歴史と人々の暮らしを紹介する博物館を訪れました。そこにはドイツが持つ自分が知らなかった側面があり、とても良い勉強になりました。このように、今回の留学で現地に行って肌で感じてみたいとわからないことがありと実感しました。これからも「現地に行くことでしか感じるもののできない文化や感覚がある」ということを大切にしていきたいです。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

このプログラムでは、語学力を伸ばすだけではなく、ドイツの雰囲気や十二分に味わうことができます。今回のプログラムでは、滞在地以外の街へ行くことのできる企画を滞在先の大学が提供しており、私はベルリン、ライプツィヒなどに行くことができました。それぞれ、その町独自の雰囲気を持っており、違いを感じることもとても楽しかったとともに、改めてドイツが持つ魅力を体感できました。参加を検討している人は、ぜひ参加してその魅力を肌で感じてほしいと思います。

(2025年度参加)

フランス語 スプリングプログラム

French

スプリングプログラム フランス語 CAVILAM -Alliance française (クレルモン・フェラン大学監修) [フランス]

プログラム期間
2025年2月12日(水)～3月16日(日)

Report of the instructor

フランスの中央に位置するヴィシーのCAVILAMは1964年にクレルモン・フェラン大学とヴィシー市によって設立され、外国語としてのフランス語教育に関してトップレベルの施設です。年間を通じてフランス語を学ぶ人たちが世界中から集まっています。受講生は学生だけではなく、外国政府の役人、ビジネスマン、研究者と様々です。CAVILAMの先生やスタッフの方は参加学生のフランス語体験が実り多いものとなるためにいつでも相談に乗ってくれます。この街は温泉保養地としても有名で、緑に囲まれた人口約2万5000人の小さな街です。落ち着いて勉強するのに非常に適している環境といえます。



参加者は、最初の月曜日にプレースメントテストを受け、各自のレベルに合ったクラスに配属されます。授業は10名から15名の少人数制で行われます。必修のフランス語講座以外に、午後には自由参加のパラエティーに富んだ課外活動が開催されます。近隣の街へのエクスカッション、地元チー

ズの紹介、刺繍のクラス、映画の上映会、スポーツなど、毎週変わります。教室に座っているときだけがフランス語、フランス文化の学びではありません。こうした課外活動には積極的に参加してください。研修期間中の滞在形態は寮またはホームステイのいずれかを選ぶことができます。行く前までは不安のあった学生も、帰国すると皆、一回り成長して戻ってきます。フランス語の語学能力が大きく向上したのももちろんのこと、肌でフランスを感じて過ごした時間が自分の中で大きな自信につながり、さらに前進する原動力になるようです。この体験を足がかりに、いつも多くの学生が本格的により長期の留学を考えるようになるのもそのためです。

体験記

" 素敵な出会いに溢れています！ "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

やはりフランス語です。これまで文法は学んできましたが、いざ会話すると、頭の中で活用を考え、すぐ口に出すことが難しかったです。また発音が難しく、リスニング力のなさを感じました。私は会話力を身につけようと思い、話すことそのものにとっても力を入れました。授業中はもちろん授業の前後で先生やクラスメイトとフランス語で会話をしたり、またホームステイ先では今日どんなことをしたのか、何を食べたかを話しました。放課後は多国籍の友達と遊び、日本語は極力使わない生活にしました。また私は同ジステイ先にアメリカ人の留学生がいたため、毎晩時間を決めて、フランス語を話す時間を設けました。向上心を持って、自分の環境でどうしたらよりよい学びができるのか考えて行動し、フランス語を話すことに慣れていきました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

語学力においては、実際にフランス人の発音を聞き、会話力を身につけられた点です。また精神面においては、積極性を身につけられたかなと思います。これは様々な国籍の友人たちと授業を受けていく中で学んだことです。間違ってもいい、授業に主体的に参加することこそがよりよい学びにつながり、また先生含め授業を受けるみんなにとってもさらに面白い授業になると感じました。私もこうした友人たちのようにありたいと思いました。また自分の意思をはっきり伝える姿勢が日々身についていったなと感じます。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

今回の留学を通してフランス語に対する意欲が高まりました。日本にいる時は馴染みのないフランス語はとても遠い存在のように感じていましたが、現地に行って、ヨーロッパに行って、フランス語はメジャーであること、世界的な言語であることを強く感じました。私は2回生で、応用まで履修が終わってしまいましたが、将来就職してから役立つよう、今回の留学で得たフランス語力を維持できるよう、DELFを受験しようと考えています。また語学力以外にも現地で得たたくさんの経験や学びを今後の人生に大いに活かしていこうと思います。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私自身、大学の授業でフランス語にとっても苦労しました。いつもフランス語だけ成績がいまいちでした。できないからこそ現地に行ってフランス語をもっと知りたい、そんな思いで留学を決めました。私はフランスに1か月住むという貴重な経験ができ、本当に本当によかったなと思います。なぜなら英語圏ではない国、ヨーロッパの国だからこそ感じられる全然違う言語や文化だったり、価値観の発見が最高に面白かったからです。視野が大きく広がったなと感じます。フランス人はみんな温かく、とても素敵な国です。大いに行く価値がある場所です。

またフランスで出逢ったいろんな国の友人たちと過ごした時間もかけがえのない大切な思い出です。フランスは素敵な場所、人との出会いに溢れています。

少しでもフランスに興味ある方、何かに挑戦したい方、ぜひ勇気を出して踏み出してみてください!! (2023年度参加)



中国語 サマープログラム

Chinese

サマープログラム 中国語 北京大学 [中国]

プログラム期間
2025年8月3日(日)～8月31日(日)

Report of the instructor

2025年度の中国語サマープログラムは、8月3日から8月31日まで北京大学にて実施されました。約1年の学習歴をもつ2年生を中心に、初学者から上級者まで計6名が参加し、少人数ならではの丁寧な指導が行われました。授業はレベル別に編成され、平日午前中には中国人教員による会話・文法を中心とした密度の高い授業が展開されました。希望者は英語による歴史・文化講義を受講し、中国社会を多角的に理解する機会を得ました。また、万里の長城・故宮・頤和園といった世界的史跡の見学や留学生交流会など、多彩な課外活動を通じて教室内外で中国語と文化を立体的に学ぶことができました。



開催校である北京大学は、歴史と伝統を誇る名門として知られ、図書館や学習環境の充実度は際立っており、在校生の学ぶ姿勢も刺激に満ちています。広大なキャンパスと多様な食堂は快適な生活を支え、北京市中心部へのアクセスも良

好で、学習と文化体験を両立できる点も大きな魅力です。学生たちは現地大学生・留学生や図書館職員・店員との交流を重ね、語学運用能力が大きく向上しました。さらに、中国社会の歴史認識や価値観に直接触れ、日本からは見えにくい現実を自ら体験することは、知的・人格的成長の貴重な契機となり、主体性やコミュニケーション能力も飛躍的に高まりました。

今年度も多くの学生の積極的な参加が期待されます。

体験記

" 1か月とは思えない成長でした！ "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

私が今回の留学で一番苦労した点は言語の壁でした。私は大学1年生の頃から約1年半中国語を勉強していたため、北京での生活はある程度何とかなるだろうと楽観的に考えていました。しかし実際北京で生活してみると、現地の人々の話すスピードは大学の先生が話すスピードの何倍も速いため全く聞き取れず、また頑張って中国語を話してみても声調が間違っていて理解してもらえないことが度々ありました。これらの言語の壁を乗り越えるために、コミュニケーションをする際にはボディランゲージを用いたり、アシスタントの方やお店の店員さんに簡体字の発音を教えてもらったりしました。このような努力もあり、言語の壁を乗り越え、留学を終える頃には一人でも生活できるようになりました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

私がこの留学で最も成長したと感じた能力は異文化理解力だと思います。中国と日本の生活様式は大きく異なり、ショックを受けることが多々ありました。中でも一番だったことはトイレ事情の違いでした。中国のほとんどのトイレが和式で、洋式は限られた場所にしかなく、またトイレトペーパーが流せないため、日本のように清潔が保たれているトイレはほとんどありませんでした。そのような日常生活における文化の違いは他にもたくさんあり、中国の生活様式に慣れるまでに時間がかかりました。この留学を通して、自分にとって受け入れがたい文化を受け入れ、日本で当たり前であったことが当たり前ではないことを知ることが、今まで自分がいかに狭い世界しか見ていなかったのか気づくことができました。このように自分の視野を広げられたことが、一番の成長であったと私は思います。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

一番身近な将来ですと今回の経験をバイトで活かしたいと思います。私が働いているカフェには多くの観光客が訪れ、中でも支付宝(Alipay<アリペイ>)や微信(WeChat<ウィーチャット>)を使っている人をよく見かけるため、多くの中国人観光客が訪れているのではないかと思います。私が今まで出会った中国人のお客様は日本語や英語が話せる方々だったので中国語を使うことはありませんでした。しかし、今後ご来店してくださるお客様の中には中国語しか話せない方もいらっしゃるかもしれないので、そのようなお客様ともスムーズに会話できるように、中国での経験を活かして今後も中国語を勉強したいです。また、中国語検定を積極的に受けることで、長期的に自分の中国語力の向上を目指したいです。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私は今回のプログラムに参加し、言語力の向上や中国文化の学習、多様な価値観の獲得など1か月とは思えないほどに成長できました。1か月の留学では旅行と変わらないという意見もあると思いますが、1か月でも過ごし方次第で変われると思いますし、1か月だからこそお金やホームシックなどといった負担を感じず、留学に集中できるのではないかと思います。もし留学に悩んでいる方がいらっしゃいましたら、ご家族と相談したうえでぜひ留学を目指されてはどうかと思います。(2024年度参加)



スペイン語 スプリングプログラム

Spanish

スプリングプログラム スペイン語 B サラマンカ大学 [スペイン]

プログラム期間
2025年2月20日(木)～3月19日(水)

Report of the instructor

2024年度のスペイン語のスプリングプログラムは2月20日から3月19日までサラマンカで実施されました。本スプリングプログラムは、留学生向けのスペイン語学習で有名なスペイン最古の大学であるサラマンカ大学で実施されます。3週間にわたり1日4時間の授業を受講します。授業は午前中に行われ、午後はサラマンカ大学の施設を利用して勉強やスポーツをしたり、世界遺産であるサラマンカ旧市街を巡ったりします。サラマンカは大学生が多く、安全な街ですが、タパスやワインを楽しむバルも多く、いつも活気に溢れています。現地のホストファミリーと生活するため、スペインの文化、食事、生活様式を肌で感



じ、初日からスペイン語会話を実践することができます。週末にはサラマンカ大学主催のアビラ、レオン、エスコリアル宮殿など近郊への日帰り遠足や、セビリアとコルドバを訪れるアンダルシアへの3日間の旅行があります。若い時期のこうした異文化体験は、人生観を広げるうえで大きな意味を持ちます。一人でも多くの学生に積極的に来知の世界に飛び込んでいてもらいたいと願っています。



体験記

" スペインで学んだ、人生を楽しむマインドセット "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

自分のボキャブラリーが少なかったために、ホストファミリーとの会話でわからない言葉が出てくることが多く、言われたことを部分的に理解できないことが多かったのですが、会話の流れをいったん止めてでも恐れずに質問することを心がけていました。おかげで自分が言いたいことがスペイン語で出てこなくても、相手が推測しやすいように説明的に伝えることができました。例えば、「タイヤ」という単語がわからなかったときに、調べるのではなく、「車に4つ付いていて、それが回転することで車が進む」と言った感じです。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

生活の中でよく使う表現をたくさん覚えて実践できたと思います。授業で知った表現をその日のうちにレストランなどで使うことがいい復習になっていたと思います。また、スペイン人の人生を楽しむためのマインドセットは見習うべきだなと思いました。実際に、ホストファミリーが私を送り出すとき「楽しいことのために物事に励みなさい」という言葉をくれました。特に労働に関して、生きるためだけでなく楽しいことのためにお金を稼がないと生きている意味がないと言われました。この言葉を忘れたくありません。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

自分は大学院に行って海外で授業を受けたいと思っているので、全く言語の違う環境で1か月間生活できたことは、今後の自分にとって非常にいい経験だったと感じています。また、日本以外の国から来た学生たちは積極的に授業で質問するので負けじと食らいついていました。この経験は、大学院生として学びを続けていくうえでもよい訓練になったと感じますし、この食欲さを今後も持ち続けていきたいと思っています。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

スペインに行きさえすればスペイン語が上達するだろうと考えている人にはあまりおすすめできません。ただし、自分の積極性を発揮したい、鍛えたいという人はこのプログラムで自身が望むものを得られると思います。とにかく何事もやってみることです。行こうか迷っている人は行く方がいいと思います。行って後悔はないと思いますが、行かない後悔はずっと残ると思います。授業も充実しているし、私生活も満喫できるので、もし本当にスペイン語を上達させたい、もしくは自分を変えたいと思っていれば自信と勇気を持って参加してみてください。慣れます。

(今回はスペインに到着した日にスペイン語の勉強を始めた学生がいました。彼女は1か月後、自分で注文してお会計をすることができていました。意識次第でいくらでも成長できます。)

(2024年度参加)



ロシア語 サマープログラム

Russian

サマープログラム ロシア語 ロシア国立サント・ペテルブルク経済大学 [ロシア]

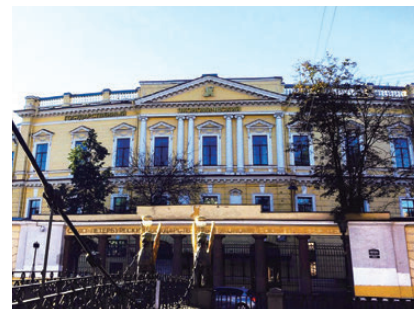
プログラム期間
2018年8月19日(日)～9月10日(月)

Report of the instructor

2018年度のサマープログラム・ロシア語は8月19日(日)から9月10日(月)にかけてロシア国立サント・ペテルブルク経済大学を研修先として実施された。

初日の午前はマイクロバスによる市内ツアー、午後は簡単なパーティーとオリエンテーションを終えた後、口頭によるクラス分けのための簡単なテストが行われた。7名の参加者は二つのクラスに分けられ、2日目以降は10時から13時までの授業(休憩あり)が、土・日曜日を除いて毎日行われた。

同志社大学の学生を何年にもわたって教えていただいているシュルギン先生らによる授業は、アットホームな雰囲気の中で進められた。ロシア語の



早口言葉、キャンパスツアー、簡単なロシア史の講義など盛りだくさんである。

帝政ロシアの首都であったサント・ペテルブルクには見るべき建造物や博物館が多いが、大学国際課の職員タチャーナさんの尽力により効率的に多くの場所を回ることもできた。滞在期間の終わりは学生たちは、自主的に町を探索していたようである。関西国際空港使用不能状態への対応で、引率者はかなり時間をとられたが、学生たち自身がしっかりと自己管理をしてくれたおかげで大いに助かったと思っている。

体験記

" こまめに調べる癖つけで単語量が増えた "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

ロシア語は大学でずっと授業を取っていましたが、実際に話したり聞いたりするような力を持ち合わせておらず、自分の語学力の低さには苦労させられました。授業で先生の話していることを理解する、お店で買い物する際の店員とのやりとりなど、初めはただ頭がいっぱいになって言葉を発することもできませんでした。少しでも知っている語彙を増やそうと思い、知らない単語はすぐに辞書で調べてノートにまとめることを毎日続けているうちに、次第に相手の言っていることが少しずつ聞き取れるようになり、単語を並べて自分の言いたいことを伝えられるようになりました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

語学力に関して、街中にある看板や標識に書いてある単語を見るたびに、どういう意味なのか調べる癖がつき、自分の単語量が増えたと思います。また、授業で毎日出される「その日の出来事」を文章で書くうちに自分の言いたいことを文章にして伝える力が少しついたように思います。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

今回のサマープログラムに参加し、ロシアの文化や歴史、人々の生活の様子について学ぶことができたのと同時に、自分がいかに日本のことに関して無知であるかがわかりました。今後は日本、主に今自分が通っている京都の歴史や文化について学び、日本の魅力を海外の人に伝えていきたいです。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

ロシアという自分にとって未知の国に行くということに参加するが迷いましたが、今は参加して本当に良かったと思います。実際にロシアの地で生活し、街の風景を見たり、買い物をしたりすることで、もっとロシア語を勉強して話せるようになりたいという意欲が湧きました。自分の語学力を伸ばしたいと考えている人はもちろん、少しでも興味がある人は参加してみることをお勧めします。

(2018年度参加)

コリア語 サマープログラム

Korean

サマープログラム コリア語 / ハングル 延世大学 [韓国]

プログラム期間
2025年8月3日(日)～8月27日(水)

Report of the instructor

本プログラムは、夏休み期間中に、ソウルにある延世大学校韓国語学堂で行われている3週間短期課程に参加してコリア語を学習するものです。語学堂では、日本語がほとんど通用せず、また各国から参加した多様な母語話者の学生でクラスが編成されるため、日本語でのコミュニケーションが可能な日本での学習環境とは大きく異なります。教室外でももちろんコリア語によるコミュニケーションが基本となります。3週間という決して長くはない期間ですが、このような言語環境に身を置くと、各自のコリア語レベルを大きく伸ばすことができるでしょう。

プログラムでは、週5日(月～金)、毎日4時間



(9時～13時)、総60時間の授業を履修します。授業が始まる前に、レベル分けテストを通じて、各自のコリア語能力に合ったクラス(1級～

8級)に編成され、13人前後のクラスで学びます。正規の授業以外に、週1回程度、韓国文化体験に参加します。韓国料理教室や演劇鑑賞などがあり、積極的に参加することでコリア語のレベルを楽しみながら向上させることができます。

延世大学の語学堂は世界で最も定評のある韓国語教育機関です。このプログラムに参加し、韓国生活を楽しみながら、ぜひ自分のコリア語の実力を高めてみましょう。



体験記

"自分の知識を振り絞って成長した長くて短い3週間"

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

プログラム開始前は、初めて海外で3週間過ごすことに加えて毎日一緒にいることになるルームメイトと楽しく過ごすことができるのか心配でした。私たちの場合、初日にお互いの生活習慣やこだわりを話し合うことで最終日まで仲良く過ごすことができ、とても良い関係を築くことができました。また韓国での暮らしは日本とのギャップを感じるが多々あり困惑することもありましたが、プログラムに参加したみんなと協力したり現地の人の真似をしてみたりすることで乗り越えることができました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

最初は簡単な韓国語で注文をするのも精一杯でしたが、徐々に店員さんがさりげなく話してくれることを聞き取れるようになったことに一番の成長を感じました。韓国の方は自分の知っている単語を並べて話すだけでも上手だねと言ってくれるのでモチベーションが上がり、さらに頑張って話してみようという気持ちになりました。私はそこまでレベルが高くないので知らない単語は調べながら話すことを意識していました。それを繰り返すうちに日常会話でよく使う単語や表現が身についていきました。話しかけることに

億劫にならず、自分の知識を振り絞って行動に移す勇氣と度胸がこの留学で一番身に付いたことだと思います。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

レベルの高いクラスの外国の方や友人を見ていると、母国語以外の一つの言語を集中的に学び極めることの凄さや難しさを実感しました。それと同時に私も何かに打ち込んで極めたいと強く思うようになりました。これを機にTOPIKのスコア獲得などを目指し、自分が打ち込んだものの一つとして強みにしていきたいと思っています。また、海外で3週間過ごした経験から得た異文化理解の大切さや、他者と協力することの難しさを忘れず、それらに貢献できる人物を目指したいと思いました。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私は好きな韓国で夏休みを有意義なものにしたいという気持ちでこのサマープログラムに参加しましたが、想像していたよりも遥かに素晴らしい経験になり一生の思い出に残る3週間だと思いました。同じ目標を持った初めて会う同志社の仲間、初めて話す国から来たクラスの仲間、そして拙い韓国語でも一生懸命話を聞いてくれる語学堂の先生。このプログラムに参加しなかったら出会うことのなかった人たちが沢山いました。3週間は長くて短いですが、留学に不安がある人でも挑戦しやすい期間だと思います。悩んでいる方には絶対に経験してほしいので強くお勧めします。

(2025年度参加)



ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム

2017年度にドイツのテュービンゲン大学に同志社大学テュービンゲンEUキャンパス(以下「EUキャンパス」という)を開設し、2019年度からEUキャンパスで開講する教育プログラムである、「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」をスタートしました。EUキャンパスの特色を生かした科目構成となっていますので、ぜひこの機会にEUキャンパスで多様な価値観に触れ、幅広い視野を身につけてください。

本プログラムは以下の4科目、14単位で構成しており、全て春学期科目となります。

科目名	クラス	単位数	概要	定員
セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	-	各4単位	1セメスター集中型のドイツ語研修。ドイツ語の運用能力を総合的に高めます。授業はドイツ語のみで行われ、4月下旬からは習熟度別のクラスで、テュービンゲン大学への交換留学生とともに学びます。また、ドイツの省庁、研究所などへのフィールドトリップが4回実施されます。	約15名 (最少催行人員10名)
Intercultural Studies	-	2単位	テュービンゲン大学日本学科の学生との共修科目。日本とドイツ、アジアと欧州の共通点や相違点等の理解を深め、多様な価値観に触れ、受講生自らの世界観を磨くことを目的とします。	
EUキャンパス特別講義	001	2単位	ドイツおよびヨーロッパの先進的な取り組みや諸課題を題材とし、その深層にある社会の特質を理解するとともに、日本が直面する課題の解決について思考することを目的とします。テーマごとにクラスを展開します。	
	002	2単位		

※2026年度プログラムの募集は終了しています。2027年度の募集、および科目の詳細については、2026年10月上旬に実施予定の募集説明会に参加し、そちらで配布される募集要項を確認してください。募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2026年9月上旬に公開する予定です)。

https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/eucampusprogram/eucampusprogram_depg.html



EUキャンパス支援室長からのメッセージ

テュービンゲンは、ドイツ南西部に位置する人口約9万人の美しい大学都市です。中世の趣を今なお色濃く残しつつも、若者や若い家族が多く暮らす活気あふれる街です。その立地からフランスやスイスへのアクセスもよく、ヨーロッパの多文化に触れる絶好の環境が整っています。

この街の中心に位置するテュービンゲン大学は、500年以上の歴史を誇る名門大学で、天文学者ヨハネス・ケプラーや哲学者ゲオルク・ヴィルヘルム・フリードリヒ・ヘーゲルが学んだことでも知られています。現在も、ドイツの最先端の研究を支える「エクセレンス大学」に選ばれており、その学問的地位は揺るぎないものです。

本プログラムでは、ドイツ語の習得をはじめ、テュービンゲン大学日本学科の学生と共に学ぶ共修科目や、ドイツの環境政策や歴史認識をテーマにした科目を受講できます。また、欧州議会や環境先進都市を訪れるフィールドワークも含まれ、単なる語学研修を超えた多角的な学びの機会を提供しています。

さらに、学生一人ひとりにテュービンゲン大学の学生が「パディ」としてサポートする制度も魅力的です。このパディ制度により、学習面だけでなく、現地での生活全般についても充実したサポートを受けられます。

「EUキャンパス」という恵まれた環境で、ドイツ語やドイツ・ヨーロッパの歴史と文化について深く学び、新たな価値観に触れる経験をしてみてください。



ドイツ語 セメスタープログラム

German

セメスタープログラム ドイツ語Ⅰ・Ⅱ テュービンゲン大学 [ドイツ]

Report of the instructor

「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」は、2019年に新設されて以来、同志社大学とドイツのテュービンゲン大学、両大学の異文化交流の教育プログラムとして、ドイツ語・異文化理解の面で多くの実績を残してきました。長年にわたって研究交流が継続されており、今出川キャンパスには「テュービンゲン大学同志社日本研究センター」が設置されています。2025年度も本プログラムが実施され、15名の参加学生たちは今出川キャンパスで4回のドイツ語集中コースを受講した後、約4ヶ月間テュービンゲン大学内で集中的なドイツ語研修を受けるとともに、ドイツ及びEUの文化、社会な



どについて学びました。留学の体験は、ゼミや授業からの学びを実践し、さらに広げる機会となります。ドイツでの生活を満喫する一方で、多くの驚きや戸惑いもあったと聞いていますが、こうして

ドイツから帰ってきた学生諸君の多彩な経験や、積極的な学びから得られた達成感こそが、同志社大学の発展にとって最も重要な基盤となります。本プログラムに参加された学生諸君がこれからもドイツ語の勉強をし続けることを期待しています。



体験記

" 支えてくれる友人の大切さにも気づかされました "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

私はドイツ語を上達させるためにこの留学プログラムを選びましたが、なかなか自分の語学力の伸びを実感できないことに加え、周囲の人と比べて自分のドイツ語能力の低さに何度も落ち込みました。この状況を乗り越えるために、とにかく毎日勉強を続けました。例えば、ドイツ語で日記を書くことを習慣にしたり、自分で外部の試験に申し込み、その対策を行ったりしました。また、ドイツ国内を旅行するときには、勇気を出して観光地や電車で出会った現地の方と会話をし、実際に使えるドイツ語を少しずつ増やしていきました。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

私が留学を通して成長したと思う点は、継続力と忍耐力です。ドイツ語の壁を乗り越えるために、毎日勉強を継続し、少し努力を強いられる環境に耐えて身を置くことで、忍耐力を鍛えることができました。留学の終わりには、日常会話ができるようになり、ドイツに來たばかりの頃に比べて格段にドイツ語を使いこなせるようになっていました。幸運なことに周囲の人々にも恵まれ、挫けそうになったときにはいつも支えてくれました。辛い時に支えてくれる友人の存在の大切さにも、改めて気づかされました。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職／大学院進学等)

私は留学に参加する前から、漠然と「いつかドイツに住みたい」という夢を抱いていました。しかし今回の留学を経て、その夢をより現実的な目標として考えられるようになりました。幸運な機会に恵まれ、実際にドイツで暮らしている日本人の方々にお会いし、お話を伺うことができました。その中で、皆さんがどのような経緯でドイツに来て、どのように生活を築いているのかを知り、自分がドイツに住むためには何が必要で、どうしたら生活していけるのかを具体的に考えるきっかけとなりました。今後は、自分自身と向き合い理解を深めながら、自分に合った実現可能な方法を模索していきたいと考えています。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

この留学プログラムを選んで本当に良かったと感じています。理由は二つあります。一つ目は、現地オフィスの方々による手厚いサポートです。大学関係のことから生活全般まで幅広く支援していただいたおかげで、不安なく生活でき、勉強にも集中できました。勉強に専念したい方や初めての海外生活に不安がある方には特にお勧めです。二つ目は、語学力向上を主な目的としていたことです。3月上旬から4月中旬にかけて、学生のレベルに合わせた同志社大学専用のドイツ語の授業が行われました。この期間には日本人メンバーと過ごすため安心感があり、仲も深まりました。(2025年度参加)

海外留学プログラム統計(出願者・合格者)

▶ スプリングプログラム

科目名	研修先	定員	2025年度		2024年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
英語A	ホーソン・メルボルン英語学校(オーストラリア)	約25名	55	30	64	31
	ヨーク大学(イギリス)	約24名	34	24	44	24
	オタゴ大学(ニュージーランド)	約25名	28	30	44	25
英語B	オークランド大学(ニュージーランド)	約20名	24	30	23	30
英語C	カリフォルニア大学アーバイン校(アメリカ)	約19名	8	11	20	22
英語D	2016年度以降開講なし					
ドイツ語	フライブルク大学(ドイツ)	約20名	6	5	5	5
フランス語	CAVILAM -Alliance française (クレルモン・フェラン大学監修) (フランス)	約20名	5	4	11	10
中国語	華東師範大学(中国)	約20名	12	12	7	7
スペイン語B	サラマンカ大学(スペイン)	約20名	12	12	19	19
コリア語	慶熙大学(韓国)	約20名	15	14	24	24

▶ サマープログラム(英語)

科目名	研修先	定員	2025年度		2024年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
英語A	ヨーク大学(イギリス)	約24名	31	24	36	24
	ディーキン大学(オーストラリア)	約20名	19	19	43	20
	ゲルフ大学(カナダ)	約25名	20	22	24	23
	トンプソン・リバーズ大学(カナダ)	約25名	2025年度開講なし		16	13
英語B	カリフォルニア大学デービス校(アメリカ)	約25名	6	14	15	18
	ヨーク・カレッジ大学(アイルランド)	約15名	16	15	5	5
	オークランド大学(ニュージーランド)	約20名	18	17	10	20
	カリフォルニア大学サンディエゴ校(アメリカ)	約20名	2025年度開講なし		2024年度開講なし	
	ケンブリッジ大学(イギリス) ^(※1)	約34名	34	34	32	34

(※1) ケンブリッジ大学は2024年度以前は英語C(2単位)として実施していました。

▶ サマープログラム(初修外国語)

科目名	研修先	定 員	2025年度		2024年度	
			出 願 者	合 格 者	出 願 者	合 格 者
ドイツ語A	2019年度以降開講なし					
ドイツ語B	マルティン・ルター大学(ドイツ)	約20名	5	5	3	3
フランス語	マリー・エ・ルイ・パストゥール大学(フランス)(※2)	約20名	6	6	14	14
中国語B	北京大学(中国)	約20名	8	8	14	14
スペイン語	ラス・アメリカス大学(メキシコ)	約20名	2025年度開講なし		1	1
ロシア語	ロシア国立サンクト・ペテルブルク経済大学(ロシア)(※3)	約20名	2025年度開講なし		2024年度開講なし	
コリア語	延世大学(韓国)	約20名	16	16	19	17

(※2) マリー・エ・ルイ・パストゥール大学は、旧フランシュ＝コンテ大学です。

(※3) ロシア語は、今後の再開は未定です。

▶ セメスタープログラム

科目名	研修先	定員	2025年度		2024年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
英語Ⅰ・Ⅱ	ウィニベグ大学(カナダ)	約30名	2025年度開講なし		27	27
	ディーキン大学(オーストラリア)	約30名	18	30	31	30
	ハワイ大学(アメリカ)	約30名	2025年度開講なし		3	2
ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	テュービンゲン大学(ドイツ)	約15名	16	15	17	15

※出願者より合格者が多いプログラムは、第2希望以下を併願し合格した者を含む。

※「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」の出願者・合格者数は「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の統計結果となります。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の詳細は、37ページを確認してください。

4 外国語関連科目

Courses
Related to
Language and Culture

本学では、全ての学部学生を対象とした共通の教養教育科目として、全学共通教養教育科目を提供しており、「科目群」と「科目区分」という、科目の狙いや特徴に応じたグループ分けがあります。「科目群」は「同志社科目群」「基礎学術科目群」「グローバル教養科目群」「イノベーション創出科目群」の4つがあり、「科目区分」はそれらに属します。「グローバル教養科目群」は「国際教養科目区分」と「外国語教育科目区分」で構成されています。「国際教養科目区分」には異文化及び日本文化、世界の諸相及び諸課題を理解し、問題解決に必要な知識や理論を身につけるための科目が用意されています。「外国語教育科目区分」では外国語によるコミュニケーション能力を身につけること、外国語学習を通じて異文化理解力を深めることを目的として英語、及びドイツ語、フランス語、中国語、

スペイン語、ロシア語、コリア語の7か国について、4年間の段階的、体系的カリキュラムを提供しています。また、兼修外国語としてイタリア語も提供しています。

こうした科目を履修することでバランスよく国際感覚を身につけることを目標としており、「国際教養科目区分」の中には外国語で授業が行われる科目や、留学生とともに学ぶ科目などが含まれています。また本学では「外国語honors(オナーズ)制度 [P.52参照](#)」の申請資格や「Doshisha“Go Global”Passport [P.53参照](#)」の授与要件としても外国語関連科目の履修を定め、外国語の学習と教養の習得が自然にキャリア形成につながるように配慮しています。国際社会で活躍するための素養を身につけるため、関心ある学生諸君の積極的な受講を勧めます。

国際教養科目群一覧表

科目区分	配当年次	科目名	単位数
国際教養科目区分	1～	国際関係学概論	2
		国際文化学概論	2
		日本近現代史	2
		世界近現代史	2
		世界の宗教	2
	2～	ジョイント・セミナー比較文化論	4
	1～	日本とアジア1	2
		日本とアジア2	2
		テュービンゲン大学科目	2
	2～	Intercultural Studies	2
		EUキャンパス特別講義	2
外国語教育科目区分	1～	Freshman “Go Global” Program	2
		グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(→54ページ参照)	
		英語、初修外国語科目	
		海外留学プログラム (サマープログラム、スプリングプログラム、セメスタープログラム)	

国際関係学概論と国際文化学概論

政治、経済、そして法律など各領域におけるグローバル化が唱えられて久しくなります。このような時代の流れの中で、「ローカル」と「グローバル」の境界線はますます曖昧で流動的になってきています。しかし、一方で、世界の様々な地域で様々な民族が様々な言語を使って暮らしていることは紛れもない現実であり、「グローバル化」の名のもとに単純には捉え切れない複雑化した歴史的背景と多様な価値観が存在するのです。21世紀を生きる私たちには、こうした多面的な現実に対する、より洗練された視点が必要とされているのではないのでしょうか。

国際教養科目区分の「国際関係学概論」と「国際文化学概論」の二つの講義では、国家の枠組みを越え、世界的あるいは広範囲にわたる規模(グローバル)で考える視点を身につけることを目標としています。

国際関係学概論 Introduction to International Studies ～グローバルの視点を学ぶ～

この講義では、主に社会科学領域の学問において言語や文化との関わりを考慮に入れて学びを進めることの重要性を学んでいきます。世界の様々な地域の政治、法律、経済その他の社会の諸相や諸課題を理解し、問題解決に必要な知識や理論を学んでいく際に、対象となる地域の言語や文化を十分踏まえて行うことにより、分析や考察をより深いものとすることができますし、それが本当の意味での「グローバルの視点」を獲得することにもつながります。

国際文化学概論 Introduction to Intercultural Studies ～グローバルの視点で学ぶ～

この講義では、主に人文科学領域の学問において言語や文化との関わりを考慮に入れて学びを進めることの重要性を学んでいきます。世界の様々な地域の歴史、文化、芸術の諸相や諸課題を理解し、問題解決に必要な知識や理論を学んでいく際に、対象となる地域の言語や文化を十分踏まえて行うことにより、分析や考察をより深いものとすることができますし、それが本当の意味での「グローバルの視点」を獲得することにもつながります。

これら二つの講義(概論)で世界の諸相を「グローバルの視点」で俯瞰的に見ることのできる感覚を身につけ、これを足掛かりに「グローバルな視点」に立った学びに展開してもらえることを期待します。

兼修外国語

英語と6つの初修外国語の他に「兼修外国語」として2年次より「基礎イタリア語I・II・III・IV」を学ぶことができます。それぞれ週1回の授業でイタリア語の基礎を習得します。イタリアの文化や言語に関心のある人はぜひ受講してください。

グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目

国際教養教育院が提供する幅広い学問分野の科目と日本の伝統・文化に関する科目を「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」として開講しています。これらの科目は英語で授業を行い、そのほとんどを25名程度の少人数クラス、言語や文化の異なる学生同士がともに学ぶクラスとして編成します。原則、外国人教員、または海外の大学で学位を取得した教員が担当します。海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに受講すると効果的です。1科目のみでも受講することができますので、科目内容への関心に応じ、チャレンジしてください。(詳細は [P.54参照](#)) また、次項(留学生と学ぶ科目)で紹介するAKP科目、KCJS科目、スタンフォード大学科目は「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」に含まれています。



AKP(Associated Kyoto Program)科目

AKPはアメリカを代表する13のリベラルアーツカレッジ（アーモスト大学、ベイツ大学、バックネル大学、カールトン大学、コルビー大学、コネチカット大学、マウントホリヨーク大学、オベリン大学、ポモナ大学、スミス大学、ウェズリアン大学、ウィットマン大学、ウィリアムズ大学）により構成され、アメリカの大学における日本留学プログラムとしては最も長い歴史を持っています。1972年に本学にAKP同志社留学生センターを設置し、プログラムを開始して以来、日本文化と社会に深く根ざした留学体験の場を提供し続けています。この科目はAKP同志社留学生センターで開講される日本研究などの科目をAKP学生とともに学びます。講義はすべて英語で行われ、AKP学生と同様の課題が課せられます。

スタンフォード大学科目

スタンフォード日本センターは、日米間の相互理解を深める上で必要となる知識・資質を身につけたアメリカの若い世代の育成を目的として、スタンフォード大学の日本留学プログラムを運営しており、毎年50名のスタンフォード大学の学生がプログラムに参加しています。この科目は、スタンフォード日本センターが本学で実施している、スタンフォード大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をスタンフォード大学の学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、スタンフォード大学の学生と同様の課題が課せられます。

ジョイント・セミナー比較文化論

この科目はAKP(Associated Kyoto Program)の学生・教員との共同で実施されます。受講生の半数はAKPの留学生となり、本学とAKP双方の担当教員が合同で指導を行います。授業は全て英語で行われ、日本とアメリカの文化や社会についてディスカッションし、フィールドワークを行います。この授業を通じて国際理解を深め、英語の表現力を身につけてください。



KCJS(Kyoto Consortium for Japanese Studies)科目

KCJSは1989年に京都市内に設立された機関で、1年または1学期間の海外留学プログラムを提供しています。このプログラムにはアメリカの14の大学（ボストン大学、ブラウン大学、シカゴ大学、コロンビア大学（バーナードカレッジを含む）、コーネル大学、エモリー大学、ハーバード大学、ペンシルバニア大学、プリンストン大学、スタンフォード大学、ワシントン大学セントルイス、イエール大学、バージニア大学、タフツ大学）が参加しており、京都の歴史的・文化的な資産を生かして、高度な教育環境を提供し、日本研究を志す米国の大学生と知的で文化的な交流を広く進めています。この科目はKCJSが本学で実施している日本留学プログラムの講義をKCJS学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、KCJS学生と同様の課題が課せられます。

テュービンゲン大学科目

テュービンゲン大学同志社日本研究センター（以下、TCJS）は、ドイツのテュービンゲン大学が研究の日本拠点として本学に設置したセンターであり、毎年テュービンゲン大学から留学生を受け入れ、日本語や日本文化・社会を学ぶための講義を行っています。この科目は、TCJSが本学で実施しているテュービンゲン大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をテュービンゲン大学の学生とともに受講します。講義はすべてドイツ語で行われ、テュービンゲン大学の学生と同様の課題が課せられます。（この科目の受講は、ドイツ留学を控えている、またはドイツ留学から帰国した人が望ましい。）



5 外国語能力評価

Self Evaluation
of Language Ability
Using CEFR

今の自分の外国語の能力がどこにあるかを、下の表を見て把握してみましょう。
そうすれば、これから授業や日頃の学習を通して、どこを伸ばしていけばよいのかが見えてくるはずです。

CEFR※自己評価の目安(簡略版)

		A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2
理解する	聞く力	はっきりと、ゆっくりと話してもらえれば、聞きなれた語やごく基本的な表現を聞き取れる。	最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。	身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。	テレビのニュースや時事問題、標準語の映画ならほとんど理解できる。	特別の努力なしにテレビ番組や映画を理解できる。	母語話者の速いスピードで話されても、どんな種類の話し言葉も難なく理解できる。
	読む力	掲示やポスター、カタログなどの中をよく知っている名前、単語、単純な文を理解できる。	ごく短い簡単なテキストや簡単な短い個人的な手紙は理解できる。	日常語や、自分の仕事関連のテキストなら理解できる。簡単な私信を理解できる。	現代の問題についての記事や報告が読める。現代文学の散文は読める。	複雑なテキストを理解できる。自分の関連外の分野での専門的記事も理解できる。	抽象的で複雑なテキストなど、あらゆる形式で書かれた言葉を容易に読むことができる。
話す	会話力	必要なことや身近な話題についての簡単な質問なら、聞いたり答えたりできる。	短い社交的なやり取りをすることができる。	日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話ができる。	身近な話題の議論に積極的に参加し、自分の意見を説明できる。	社会上、仕事上の目的に合った言葉使いができ、自分の考えや意見を正確に表現できる。	いかなる会話や議論でも難なく加わることができる。
	表現力	住んでいるところ、また、知っている人たちについて簡単な語句や文を使って表現できる。	家族、周囲の人々、居住条件を簡単な言葉で説明できる。	簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、目標を語ることができる。	興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明ができる。	複雑な話題を、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめることができる。	論理的な会話で聞き手に重要点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。
書く	書く力	お祝いのメッセージなど、短い簡単な言葉を書くことができる。	簡単に短いメモやメッセージ、短い個人的な手紙なら書くことができる。	身近で個人的に関心のある話題を書くことができる。私信や経験や印象を書くことができる。	興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。	手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題を扱うことができる。	論理的に事情を説明し、複雑な内容の手紙、レポート、記事を書くことができる。

※Common European Framework of Reference for Language(ヨーロッパ言語共通参照枠)

6 多様なシステム・サポート体制

Learning
Facilities and
Support Systems

“Go Global”ポートフォリオ

“Go Global”ポートフォリオとは？

“Go Global”ポートフォリオとは将来、グローバルに活躍することを目指す皆さんの大学での学びをサポートするWebシステムです。自身の語学スコアや留学履歴を表示し、留学に関するレポートやアンケートを提出することができます。また、ポートフォリオというデータスペースに自分の学習の成果物をためて、後から振り返ることもできます。

“Go Global”ポートフォリオでできること

- 語学スコアの登録
- 短期・中期留学(サマー・スプリング・セメスター)プログラムの出願
- 派遣留学の出願
- コミュニティ機能の活用
- 留学・海外での学習歴の登録

など、その他便利機能も満載です。ぜひ活用してください。

実際にログインしてみましょう！

“Go Global”ポートフォリオログイン方法

ログイン <https://sso.doshisha.ac.jp>

同志社大学HPのWebシングルサインオンサービスにログインし、サービス一覧から“Go Global”ポートフォリオを選択してください。IDとパスワードは、ご自身のシングルサインオンのID、パスワードを入力してください。

マイページ (トップページ)

ログインをすると最初に表示されるページです。お知らせや更新情報などが表示されています。

①マイポートフォリオ

ポートフォリオ(データベース)が表示されます。参加したコースの履歴が表示されるとともに、自身で設定した目標を記入したシートや提出した授業課題、アンケートなども蓄積されます。

②マイコース

あなたが参加しているコース一覧が表示されます。

③マイコミュニティ

あなたが参加しているコミュニティ一覧が表示されます。「国際課からのお知らせ」では学内で行われる語学講座の情報や留学フェア、外部機関からの情報などを提供しています。

④設定

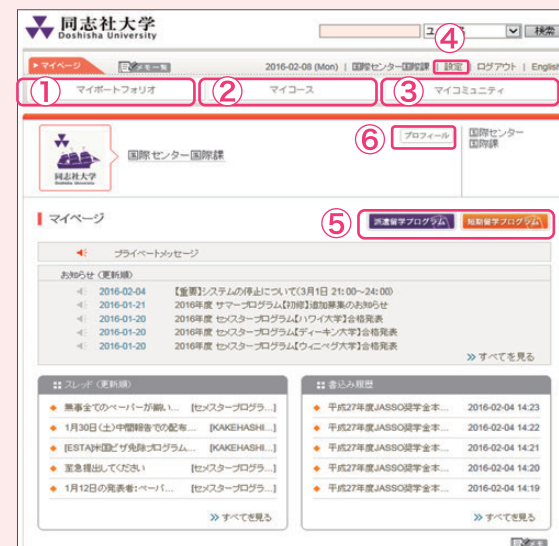
まずは、リマインダ設定をしましょう。リマインダ設定は、「お知らせ」「コースニュース」「レポート開催告知」「コース・コミュニティの掲示板への新着書き込みのお知らせ」「レポート提出のお知らせ」「自分のポートフォリオのコレクションについたコメントのお知らせ」の6点を「受信する」に設定してください。

⑤留学関連情報

体験記等、全学に提供している留学プログラムに関する情報を入手できます。また、各留学プログラムへの出願はここから行います。具体的な出願方法は、各プログラムの要項を確認してください。

⑥プロフィール

あなたのプロフィールが表示されます。語学スコアや留学・海外学習歴もここでできます。



語学スコア、留学・海外での学習歴の登録

語学スコアと留学・海外学習歴を登録しましょう。登録は、プロフィール画面より行うことができます。

語学スコア、 留学・海外学習歴の登録

語学検定試験のスコアが登録できます。
プロフィール画面より[新規登録]をクリックし、各項目を入力してください。
※語学スコアの登録には、スコア証明書の添付が必要です。



同志社 太郎

プロフィール

国際センター
国際課

プロフィール編集

■自己紹介

京都生まれ、京都育ちの同志社太郎です。
将来は資源・エネルギー関連のビジネスに携わりたいと考えており、現在は新島ゼミに所属しています。
米国留学の経験があります。

■語学スコア

新規登録

教員にのみ公開中

受験日	テスト名	スコア	登録
2013-06-15	TOEFL-iBT	100	大学
2012-10-05	TOEFL-iBT	80	本人

» 詳細を見る

■留学・海外学習歴

新規登録

単位を伴う留学歴

渡航先	期間	登録
Harvard University アメリカ合衆国	2012-9-3 ~ 2013-03-29	本人

» 詳細を見る



e-Learning

同志社大学では、学生の自律的な学習を支援するため、「スーパー英語」と「Practical English」をオンライン自学自習教材として用意しています。共に、PCだけでなくスマートフォンやタブレットからもアクセスが可能ですので、隙間時間などを活用して計画的に学習してください。

※「スーパー英語」は学部生、大学院生(正規学生のみ)が利用可能ですが、「Practical English」は所定の科目の履修者のみ利用可能となります。

<https://www.doshisha.ac.jp/students/elearning/index.html>



スーパー英語 (Academic Express 3)

■スーパー英語とは

スーパー英語は単語、文法、リスニング、リーディングの4つのスキルごとに豊富な学習リソースを備えたe-Learningシステムで、TOEIC®テストやTOEFL®テストといった資格試験対策にも最適です。同志社大学の正規学生であれば登録料・利用料は不要で、利用に際して申請は必要ありません。

■学習の流れ

▶ Placement Quiz

学習開始前に10分程度の小テストで4つのスキルを判定。レベルに応じた教材を提案します。

▶ Training Bank

Placement Quizの結果を参考に自分のレベルにあった教材で学習を始めましょう。Vocabulary、Grammar、Listening、Readingの4スキルを鍛えます。

▶ Portfolio機能

ある程度学習が進んだら、Portfolio機能で学習状況を振り返り、苦手分野にも積極的に取り組むようにしましょう。

▶ 週間!英語ドリル

毎週決まった曜日に新しい問題を出題し、学びの習慣をサポートする学習教材サービスです。

▶ Test Bank

TOEFL®/TOEIC®/TOEIC Bridge®テストの模擬テストが配信されます(対象のテストの換算点あり)。本番前の腕試しとしてご利用ください。

■ログイン方法

右のURLへアクセスしてログインしてください。

<https://www.super-eigo.doshisha.ac.jp/student/main/login/>



Practical English

■Practical Englishとは

初級～上級(TOEIC® L&Rテスト 225～990点)を対象とした、総合的な英語力をバランスよく強化できるe-Learningシステムです。こちらのe-Learningシステムは、以下の科目で利用します。

- ・Core English(LS)-Intermediate1、2
- ・Core English(LS)-Pre-Intermediate1、2
- ・Basic English(LS)1、2

■学習の流れ

▶ 診断テスト

学習開始前に診断テストで各スキル(「Listening」「Reading」「Grammar」)の英語力を測定します。

▶ スキル別のレッスン

診断結果に合わせた「Listening」「Reading」「Grammar」のレッスンを受講することができ、総合的な英語力がバランスよく強化されます。

▶ レッスンテスト

各レッスン終了後にレッスンテストがあります。テストが不合格の場合は再度レッスンを受講し、合格を目指してください。

※学習方法の詳細については、授業時に説明がありますので、そちらを必ず確認してください。

■ログイン方法

右のURLへアクセスしてログインしてください。

<https://doshisha.reallyenglish.jp/login>



図書館の活用

場所: 今出川図書館(寧静館) / ラーネッド記念図書館(京田辺)

英文多読学習法 (Extensive Reading)

英語で書かれた平易な文章をできるだけ多く読むことによって、英語表現を自然な形で身につける、英文多読学習法(Extensive Reading)が最近注目を集めています。

▶ 多読用資料(ESL)

多読用資料(ESL)は、外国語として英語を学ぶ学習者向けの、やさしい英語で書かれた外国語教材です。使用する主要な単語数を制限し、文章の量や文法事項を調整することで、学習者が辞書無しで読書を楽しめるように工夫されています。両校地の図書館で、「Macmillan Readers」や「Oxford Bookworms Library」等のシリーズを取り揃えています。また、今出川図書館ではドイツ語の教材も備えています。積極的に活用してください。

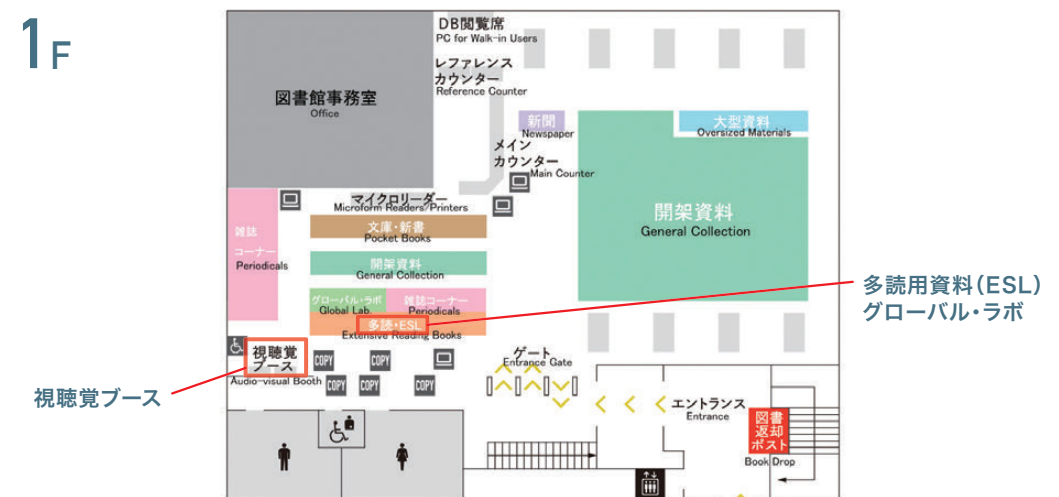
▶ グローバル・ラボ

「グローバル・ラボ」では、『語学学習に役立つ・異文化理解を深める・日本文化を学ぶ』の3つをコンセプトに学びをサポートする資料を多数取り揃えています。語学学習だけでなく、留学や異文化理解等にも役立ててください。

▶ その他の語学学習資料

図書館では語学検定試験対策に使える教材を用意しています。CDやDVDがセットになっているものもあり、今出川図書館では視聴覚ブース、ラーネッド記念図書館ではマルチメディアコーナーで利用できますので、有効活用してください。

今出川キャンパス: 今出川図書館



京田辺キャンパス: ラーネッド記念図書館



電子書籍の活用

多読用資料(ESL)は、多数、電子化されています。電子書籍は、時間や場所を問わず、いつでもどこでも利用できる便利な資料です。デジタルライブラリーのバナー「電子書籍を読もう!」から詳細をご確認ください。



■Maruzen eBook Libraryで利用できるESL

- ・Macmillan Readers(マクミランランゲージハウス)
- ・Cambridge Experience Readers(Cambridge University Press)
- ・I Talk You Talk Press(I Talk You Talk Press)
- ・Pocket Readers . 10 Ways To(HALICO)

- 1) 検索窓にキーワードを入力して検索します(出版社やジャンルでの絞り込みも可)。
キーワードに「検索用」を追加すると、シリーズ一覧表示を検索できる場合があります。

簡易検索

詳細検索

コード検索

検索

☒ 全てのタイトルから検索
 ☐ 購読契約しているタイトルから検索

種別

☒ 全てのコンテンツ
 ☐ PDF
 ☐ 読上
 ☐ 動画

出版年順 (降順)

並替

- 2) 検索結果から、「試し読み」または「読む」ボタンを押すと読むことができます。
「試し読み」には一定時間の制限がありますが、制限なくアクセスするために図書館に購入を「リクエスト」することができます。
購入済資料には「読む」ボタンが表示され、印刷やダウンロードが可能となります(一部資料を除く)。



- 3) 利用後は速やかに「閲覧終了」ボタンを押し、次の利用者のアクセスにご配慮ください。

■その他に利用できるESL

Penguin Classics(Penguin Publishing Group)やVery Short Introduction(Oxford University Press)はProQuest Ebook Centralで利用できます。

良心館ラーニング・コモンズ「Global Village」の活用

場所: 良心館ラーニング・コモンズ2階(今出川)

今出川キャンパス良心館ラーニング・コモンズ2階に、「Global Village」というエリアがあります。ここは、留学生と日本人学生の出会いを生み出す空間です。ハイカウンターやソファでリラックスした気分で国際交流が楽しめるほか(日本語禁止)、留学コーディネーターや留学アシスタント(後述)に留学に関する様々な相談・質問ができます。グローバル社会で活躍するために必要な能力を高めたいと考えている人は、ぜひ足を運んでください。

ラーニング・コモンズについて

ラーニング・コモンズは、今出川校地の良心館2階・3階と、京田辺校地のラーネッド記念図書館1階にあり、「ひらめき」を「実現」に変えていく様々な仕掛けが用意された自学自習空間です。また、今出川校地の新町キャンパスには、新創館1階に学習スペースとしてアカデミックプラザがあります。友人との共同学習やラーニング・コモンズ内で開催されるセミナー等を通じて、大学生として身につけておくべきスキルを培いましょう。

詳しい利用方法については、
ラーニング・コモンズHP(<https://lc.doshisha.ac.jp/lc/>)を確認してください。



留学コーディネーター・留学アシスタント

場所: 良心館ラーニング・コモンズ2階(今出川)
 嗣業館1階国際課(京田辺)

専門の留学コーディネーターが、これまでの職務や海外等で培った豊富な知識や経験をベースに、学内の留学プログラムに限らず幅広く皆さんの留学やグローバルキャリアデザインに関する相談へ、個別に対応します。また、海外の協定大学から本学へ交換留学中の学生が留学アシスタント(Go Global Assistant)として、良心館ラーニング・コモンズ「Global Village」で留学に関する質問に対応します。



国際交流ラウンジ 場所: 扶桑館2階(今出川) / 嗣業館1階(京田辺)

国際交流ラウンジは、外国人留学生と国内学生が国際交流を求めて集う場です。開室時間内であれば、本学学生は自由に利用できます。他にも、ラウンジでは異文化理解に有益な書籍や資料、学内外の国際交流企画を紹介するチラシ等が閲覧でき、また各種国際交流イベントも開催されています。語学力に自信がなくても、国際交流に興味がある方であれば誰でも気軽に利用できます。まずは様子を少しのぞいてみてください。国際交流ラウンジなら、日本にいながら国籍を超えた交流と多文化理解を実現できます。



検定試験・対策講座

グローバル化が急速に進展する中で、外国語運用能力は皆さんの今後の選択肢の幅を大きく左右することになります。まずは自分の実力を知り、そして目標を設定し、計画的に学習を進めるようにしてください。

検定試験

本学学生対象または本学を会場として受験できる検定試験は以下のとおりです。
各自でテストスケジュールを確認し、積極的に受験してください。

▶ TOEIC® L&R IPテスト

TOEIC® L&R IPテストは、企業・学校等の団体向けに提供されているテストで、過去の公開テストで使用されたテスト問題を使用して行われます。本学では年8回(2025年度実績)実施しています。受験料はTOEIC® L&Rテストよりも安く、スコアは履歴書にも記載することができますので、ぜひ活用ください。

【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ TOEFL ITP® テスト

TOEFL ITP® テストは、過去に出題されたTOEFL PBT® テストの問題を使用した団体向けのテストプログラムです。本学では年7回(2025年度実績)実施しており、通常のTOEFL iBT® テストに比べて受験料が安いというメリットがあります。このテスト結果は公式スコアとして使用することはできませんが、自分の実力を測る目安として、また本学の留学プログラムへの出願や一部の英語科目登録条件としても使用することができます。留学を目指す人は、積極的に受験してください。

【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ IELTS™テスト

本学は、日本におけるIELTS™運営団体の1つである一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF)が一般向けに実施するテストにおいて、会場を提供しています。本学の留学プログラムにおいて、IELTS™のスコアで申請できるプログラムや協定大学も多くあります。通いながれた場所で実施されるテストを積極的に活用し、目標スコアの取得を目指してください。

【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ ドイツ語検定試験A1／A2(A1:Start Deutsch 1 A2:Goethe Zertifikat A2)

ドイツ語検定試験A1／A2は、CEFRに基づく共通参照レベルで最初の段階であるA1レベルと、その次の段階であるA2レベルに相当します。A1:Start Deutsch 1は基礎的なドイツ語能力があれば受験することができ、1年間ドイツ語を学習した人(目安)を対象としています。A2:Goethe Zertifikat A2は、2年間ドイツ語を学習した人(目安)を対象としています。(詳細は<https://www.goethe.de/ins/jp/ja/spr/prf.html>を確認してください。)

【問い合わせ先】全学共通教養教育センター 【申込場所】今出川校地:今出川キャンパス教務センター 【費用】同志社大学で受験する場合
京田辺校地:京田辺キャンパス教務センター A1:6,500円／A2:7,500円
※費用は変動する可能性があります。



対策講座

本学学生を対象に語学試験の対策講座を以下のとおり実施しています。
検定試験のスコアアップを目指す方は、積極的に受講してください。 【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ TOEIC® L&Rテスト対策講座

本講座は、TOEIC® L&Rテストのスコアアップを目的に、レベル別にコースを設定し、外部講師を招いて開講します。講座受講には申込みと受講料が必要になりますが、一般的な講座と比較して安価で受講することができますので、積極的に活用してください。なお、2026年度の講座内容詳細は、国際課HPを確認するようにしてください。

▶ IELTS™対策講座

IELTS™は留学や海外移住に必要な英語力を評価する試験として世界中で認められており、イギリスやアメリカなど150か国、約12,500以上の教育機関、国際機関、政府機関で採用されています。本学の派遣留学先の大学でも、語学能力を測る試験のひとつとしてIELTS™を設定している大学がたくさんありますので、講座を活用してスコアアップに取り組んでください。(講座受講には別途申込みと受講料が必要になります。) なお、2026年度の講座内容詳細は、国際課HPを確認するようにしてください。

※TOEIC® L&Rテストの「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

留学に関する奨学金

同志社大学では、外国派遣留学促進のための奨学金が用意されています。これらは本学の教育理念のひとつである国際主義を体得した学生を養成すべく、皆さんの外国派遣留学を促進することを目的とした奨学金ですので、ぜひ活用してください。

▶ サマープログラムおよびスプリングプログラム履修者に対する奨学金(給付制・返還不要)

サマープログラムおよびスプリングプログラム履修者に対する奨学金は、サマープログラムおよびスプリングプログラムに参加した学生に対し、50,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ セメスタープログラム履修者に対する奨学金(給付制・返還不要)

セメスタープログラム履修者に対する奨学金は、セメスタープログラムに参加した学生に対し、200,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金(給付制・返還不要)

EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金は、EUキャンパスプログラムに参加した学生に対し、200,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ 外国協定大学派遣留学生に対する奨学金(給付制・返還不要)

外国協定大学派遣留学生に対する奨学金は、大学間協定または学部間協定による派遣留学生に対して、派遣留学期間が3か月以上6か月未満の場合は200,000円、6か月以上の場合は400,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】大学間協定による派遣留学の場合:国際センター国際課
学部間協定による派遣留学の場合:所属学部窓口

語学カウンセリング

語学にまつわる疑問の解決、語学力アップ、目標達成のために、ぜひ利用してください。

グローバル・コミュニケーション学部ならびにグローバル地域文化学部では、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語について、留学や検定試験、語学力向上のための学習方法等、語学に関する相談を受け付けています。
希望される方は、今出川・京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)にて、所定の申込用紙に記入し申請してください。担当教員と面談日時を調整後、詳細を連絡します。

【問い合わせ先】全学共通教養教育センター 【申込場所】今出川校地:今出川キャンパス教務センター
京田辺校地:京田辺キャンパス教務センター



志高館



香柏館

同志社大学から特別な認定書

外国語honors(オナーズ)制度 (外国語科目成績優秀者表彰制度)

外国語honors制度(外国語科目成績優秀者表彰制度)は、高度な外国語運用能力と国際的な視野と見識を備えた人材の育成を目標に、外国語について優秀な成績を修めた学生を表彰する制度で、2006年度春学期から導入しています。認定書授与式では学長から外国語科目成績優秀者一人ひとりに認定書と記念品が手渡されます。また、成績証明書にも外国語honors表彰者であることが記載されます。

申請資格・申請方法

<https://www.doshisha.ac.jp/students/honors/index.html>



オナーズ表彰者からのコメント



オナーズ認定を
ステップとして
より深い英語の世界へ

英語認定
安部 朔弥 さん

高校生の頃から英単語の語源に興味があり、英語そのものに深く触れたいと思い英文学科で言語学を学び始めました。現在は、言葉の奥にある認知の仕組みをたどる「認知言語学」のゼミに所属しています。

言語学の授業では英語の文献が使われることが多く、高いレベルの読解力が求められます。また個人的にメタファー(隠喩)に関心があり、その表現例を多く知るためには英語に関する幅広い知識が必要となるので、入学時から英語の全体的なスキルアップに努めてきました。オナーズ認定はその結果なのかなと考えています。

今振り返ると、1年のときに帰国生が多いクラスに入ったことが自分にとって大きなプラスになったと感じています。積極的に英語を使わないと周りについていけない「プチ留学」のような環境に置かれたことで、英語で物事を考えることへの苦手意識が弱まり、2年次に上がる前にイギリスの大学に短期留学したことで英語をもっと深く学びたいという気持ちが強まりました。

オナーズ認定は一つ上のレベルに達したことを実感する、またとない機会になったと思います。同時に次のステップを目指すモチベーション向上につながったので、これからはより広い視野を持ち、知らないことをどんどん学んでいきたいと考えています。



同志社で培った語学力と
多様な価値観を
自分の強みに

中国語認定
金子 陽香 さん

東アジアの文化を学びたくてグローバル地域文化学部のアジア・太平洋コースに入学しました。英語に次ぐ第二外国語として中国語を選択したのは、中華圏の市場が世界に与える影響力の大きさを考えたからです。

それまで知っていた中国語は「你好(ニーハオ)」程度でしたが、授業では初歩からみっちり学ぶことができ、中でも1・2年次の「中国語インテンシブ」のネイティブの先生に鍛えられました。とにかく「話なさい!」という実践的な内容の授業で、そのおかげで発音の正確さとリスニング力を高められたと思います。3年次の夏休みには香港中文大学のサマープログラムに参加し、そこで多くの現地学生と交流できたのはとてもいい経験になりました。卒論は台湾の同性婚について書き、文献調査などに中国語力が大きな役割を果たしたのは言うまでもありません。

オナーズ認定を目指したのは学生時代に「目標を達成した」と胸を張って言えるものが欲しかったからです。就職活動の面接でもオナーズ認定という証しがあるため、自分の強みを具体的にアピールしやすかったと思います。

卒業後は損害保険会社に就職します。これからの目標は、同志社で熱心に学ぶことで身に付けられた中国語力と多様な価値観を仕事に生かすことです。

Doshisha “Go Global” Passport

グローバル人材として所定の条件を満たした学生には「Doshisha “Go Global” Passport」を授与します。

グローバルな視点で活躍するために必要な基礎知識、外国語能力、実践力が一定の基準を満たした証しとなり、成績証明書に「Doshisha “Go Global” Passport」取得者であることが記載されます。

「Doshisha “Go Global” Passport」授与要件について

本学に2013年度以降に入学した学部生で、次のIまたはIIのいずれかを満たした者に「Doshisha “Go Global” Passport」を授与する。2021年度以前に入学した学部生は、授与要件が異なるため国際課HPを参照すること。

I. 次の①から④のいずれかを満たし、⑤および⑥の全てを満たした者。

- ① 別表に定める授与要件①の資格・スコアのいずれかを有すること。
- ② 「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1」「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2」「Study Abroad Preparation (IELTS) 1」「Study Abroad Preparation (IELTS) 2」のうちいずれか1科目の単位を修得すること。
- ③ 初修外国語について、別表に定める資格・スコアのいずれかを有すること。
- ④ 本学が実施する留学プログラムに参加し、所定の評価等を得ていること。
- ⑤ 「建学の精神とキリスト教」「旧約聖書とキリスト教」「新約聖書とキリスト教」のうちのいずれか1科目の単位を修得すること。
- ⑥ 「日本近現代史」「世界近現代史」「世界の宗教」「国際関係学概論」「国際文化学概論」のうち2科目の単位を修得すること。

II. グローバル・リベラルアーツ副専攻を修了した者。

授与要件 ① を満たす英語の試験および資格・スコア

試験名	級 / スコア	試験名	級 / スコア
TOEFL iBT® テスト (TOEFL iBT® Home Editionテストも可。)	2026年1月20日以前に実施された試験 79~ 2026年1月21日以降に実施された試験 Total (1-6) : 4以上	国連英検	A級以上(該当級:A、特A)
TOEFL ITP® テスト	550~	英検	準1級以上(該当級:準1級、1級)
TOEIC® L&Rテスト	730~	ケンブリッジ英検	First Certificate以上(該当級:FCE、CAE、CPE)
TOEIC® L&R IPテスト	730~	CASEC	700~
IELTS™	6.0~		

なお、国際教育インスティテュート(ILA)においては、上記の授与要件を満たす英語運用力が一般選抜入学試験の語学要件とされているため、日本国籍を保有する入学者については同等の英語能力を持つ者とみなす。
※TOEFL iBT® スコアは「Test Dateスコア」のみ可。「MyBest™」スコアは認めない。 ※TOEIC® テストの「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。
※IELTS™「One Skill Retakeスコア」は認めない。

授与要件 ③ を満たす初修外国語の試験および資格・スコア

言語	試験名	級 / スコア
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
	ドイツ語技能検定試験	準1級以上(該当級:準1級、1級)
フランス語	DELFL	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2) 〈C1、C2は、試験名がDALFとなる〉
	TCF	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
	実用フランス語技能検定試験	準1級以上(該当級:準1級、1級)
中国語	漢語水平考試(新HSK)	4級以上(該当級:4級、5級、6級) 〈GC中国語コースは5級以上〉 〈5、6級については、3/パート合計180点以上でクリア〉
	中国語検定試験	3級以上(該当級:3級、2級、準1級、1級) 〈GC中国語コースは2級以上〉
	中国語コミュニケーション能力検定	400~1,000点(該当級:レベル D、C、B、A)
スペイン語	DELE	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
	スペイン語技能検定	4級以上(該当級:4級、3級、2級、1級)
ロシア語	ТРКИ	第1レベル以上(該当級:第1、第2、第3、第4レベル)
	ロシア語能力検定試験	2級以上(該当級:2級、1級)
コリア語	韓国語能力試験(TOPIK)	4級以上(該当級:4級、5級、6級)
	「ハングル」能力検定試験	準2級以上(該当級:準2級、2級、1級)
	KLAT(旧KLPT)	4級以上(該当級:4級、5級、6級) 〈旧KLPTは350~500点〉

なお、初修外国語は、上記の一覧に記載のない試験のスコアについては評価対象とはならない。

国際課 Doshisha “Go Global” Passport

https://international.doshisha.ac.jp/goglobal_passport/goglobal_passport.html



「グローバル・リベラルアーツ副専攻」修了要件について

次の①から⑤のすべてを満たすこと。

- ① 全学共通教養教育科目のうち、「国際教養科目区分」および「クリエイティブ・ジャパン科目区分」の「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(下表)」から8単位以上修得すること。
- ② 全学共通教養教育科目のうち、「同志社科目区分」から4単位以上修得すること。
- ③ 全学共通教養教育科目のうち、「人文科学系科目区分」「社会科学系科目区分」「自然科学系科目区分」からそれぞれ2単位以上、計6単位以上修得すること。(3分野にわたり単位を修得すること。)
- ④ 全学共通教養教育科目のうち、「ライフデザイン科目区分」「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(下表)」以外の「国際教養科目区分」と「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」以外の「クリエイティブ・ジャパン科目区分」「人間科学系科目区分」「トピック科目区分」の中から2単位以上修得すること。
- ⑤ 本学入学以降に受験した以下のいずれかの試験で、定められたスコアを得ていること。

● TOEFL iBT® テスト、TOEFL iBT® Home Editionテスト	2026年1月20日以前に実施された試験	79点以上	
	2026年1月21日以降に実施された試験	Total(1-6):4以上	
● TOEIC® L&Rテスト、TOEIC® L&R IPテスト	730点以上	● TOEFL ITP® テスト	550点以上
● IELTS (IELTSペーパー版、IELTSコンピューター版 (IBCD IELTS)、IELTS オンライン版、IELTS for UKVI)	Overall band score 6.0以上	● TOEFL® Essentials™テスト	Overall band score 8.5以上

※詳細については『全学共通教養教育科目履修要項』を参照すること。

※⑤について、2020年4月以降のTOEFL ITP® テストのスコアは、本学実施のもののみ可。TOEFL iBT® テストおよびTOEFL® Essentials™テストについて、「Test Date スコア」のみ可。「MyBest™スコア」は認めない。TOEIC® L&R IPテスト(オンライン)のスコアは認められない。

※「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形である。

※IELTSテストについて「One Skill Retakeスコア」は認めない。

※2024年度以前に入学した学生の修了要件については『全学共通教養教育科目履修要項』を参照すること。

▶ グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目

	科 目 名	科 目 区 分
海外フィールドワーク	Mid-college "Be Strong" Program	
	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	
入門・導入	Introduction to Japanese Society in the Global Context	
	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	
	Humanities and Global Issues	
応用・発展	Social Sciences and Global Issues	
	Natural Sciences and Global Issues	
	Japan in Modern World History	
各論・展開	International Relations in the Postwar Era	国際教養科目
	Issues in Japanese Culture	
	Democracy and Politics : A Comparative Perspective	
	Education in the Age of Globalization	
	Issues in Intercultural Communication	
	Economy and Business in the Global Context 1	
	Economy and Business in the Global Context 2	
	Principles of Economics	
	Environmental Economics and Sustainability	
	Critical Social Issues in Contemporary Japan 1	
	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2	
	The Divisions of Identity in Society	
	Statistics for the Social Sciences and Humanities	
	Introduction to Computer Science and Information Technology	
	Human Science in the Global Age	
	Introduction to Quantitative Data Analysis	
	Conservation of Japanese Nature and Environment	
	Mathematics and its History	
	Science of Natural Disasters	
	Advanced Seminar 1	
	Advanced Seminar 2	
	Advanced Seminar 3	
	Japanese Thought and Religion 1	クリエイティブ・ジャパン科目
	Japanese Thought and Religion 2	
	Tradition and Art in Japan 1	
	Tradition and Art in Japan 2	
外国協定大学科目	Japan Today 1	
	Japan Today 2	
	スタンフォード大学科目	
	AKP科目	
	KCJS科目	国際教養科目

同志社大学 グローバル・リベラルアーツ副専攻

特 徴

POINT 1

すべての学部が受講できます

「グローバル・リベラルアーツ副専攻」は、2016年度以降に入学したすべての学部の受講を希望する学生を対象にしています。所属学部・学科の専門科目とは別に、全学共通教養教育科目を定められた要件に沿って履修することで、受講することができます。

POINT 2

授業は英語、少人数で留学生とともに学ぶ対話型授業

同志社大学では、国際教養教育院が提供する幅広い学問分野の科目と日本の伝統・文化に関する科目を「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」として開講しています。これらの科目は英語で授業を行い、そのほとんどを25名程度の少人数クラス、言語や文化の異なる学生同士がともに学ぶクラスとして編成します。事前学習を徹底し、グループワーク、ディスカッション中心の対話型授業を行うことで、柔軟な思考力と異なる文化や多様な価値観をもつ人々と協働する力を身につけることができます。

副専攻の英語開講科目には、アーモスト大学をはじめ、ハーバード大学やスタンフォード大学など、アメリカの名門大学からの留学生とともに学ぶ科目もあります。



POINT 3

広い視野と多元的な思考力の養成

「グローバル・リベラルアーツ副専攻」では、英語で授業を行う科目に加えて、キリスト教についての理解を深める科目など、全学共通教養教育科目を日本語で幅広く履修します。自分の専攻分野とは異なる様々な学問分野を学ぶことによって、広い視野をもって多角的に物事を思考する力を養います。

POINT 4

外国人教員または海外の大学で学位を取得した教員が担当

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」は、原則、外国人教員または海外の大学で学位を取得した教員が担当します。

POINT 5

海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに

同志社大学には外国協定大学派遣留学生制度があり、37か国(地域)175大学(2025年1月現在 国際HP外国協定大学派遣留学生制度参照)に半年間または1年間留学することが可能です。海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を受講すると効果的です。



POINT 6

学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」を発行

※2025年度以降生対象

次頁に記載の副専攻修了に必要な要件を満たすと、学習歴のデジタル証明オープンバッジの発行ができます。就職活動等にも活用できます。



グローバル・リベラルアーツ副専攻
オープンバッジ

POINT 7

副専攻英語開講科目は、1科目のみでも受講できます

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」は、1科目のみでも受講することができます。したがって副専攻の修了を目標にしない場合でも、科目内容への関心に応じ、1科目からチャレンジすることができます。

※「グローバル・リベラルアーツ副専攻」は、副専攻完修希望者に科目受講を保証するものではありません。クラス定員、時間割などの都合により、受講できない場合があります。



Doshisha University